

使用時の注意

安全を理由にまたは物的損害の恐れについてシステムを使用する場合には、必ず次の注意事項に従う必要があります。(1)
運転する国によって定められた法律を必ず遵守してください。



システムの操作に関する注意事項

- 交通事情が許す限り、スイッチを操作してスクリーンで情報を参照してください。
- 周囲の音が聞こえるように、ボリュームを適度なレベルに調整して下さい。

ナビゲーションに関する注意事項

- ナビゲーションシステムを使用したからといって、いかなる場合にも、運転する際の運転者の責任と警戒がなくなるわけではありません。
- 地域によっては、「地図」に新しい経路の情報がないことがあります。ご注意下さい。いかなる場合であっても、道路コードと道路標識を、ナビゲーションシステムの指示よりも優先してください。

装置に関する注意事項

- やけど、物的リスクを避けるために、このシステムを分解したり改造することは絶対にお止め下さい。
- 誤作動のため、また解体する場合には、指定サービス工場にお問い合わせ下さい。
- 異物、損傷または汚れた外部ストレージデバイス（USB キーまたは SD カードなど）をリーダーに挿入しないでください。
- マイクロファイバーの布で常に画面を清潔に保ってください。
- システムに適した外部ストレージデバイス（USB キー、SD カードなど）を使用してください。
- アルコールを含む製品やスプレーはこのエリアに使用しないでください。

システムを使用する前に、一般販売条件に事前に同意することが必須となります。
この注意事項におけるさまざまなモデルの説明は、本書の構想の際に分かっていた特徴に基づいて作成されました。注意事項には、記載されたモデルに関する存在する機能一式がまとめられています。注意事項のあるなしは、装備のモデル、選択したオプション、製品化する国によって異なります。またモデルイヤーの途中から登場した機能についても本書で取り上げます。このマニュアル上の画面は、契約ではありません。電話のメーカーとモデルによっては、いくつかの機能が車両のマルチメディアシステムと部分的または完全に互換性がある場合があります。
詳細については、指定の販売店にご相談ください。

目 次

章

「概要」の項を参照してください

1

ナビゲーション

2

マルチメディア

3

電話

4

サービス

5

車両

6

システム

7

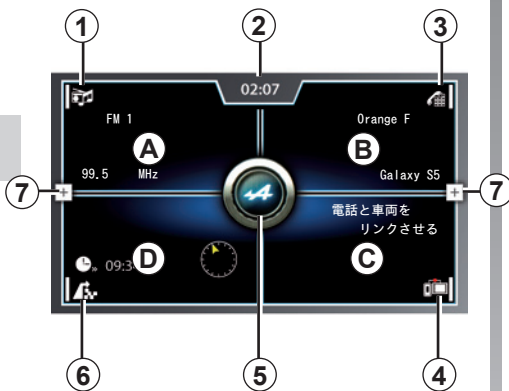
索引

8

「概要」の項を参照してください

概要説明.	1.2
コマンドの説明.	1.5
作動原理.	1.6
進む／止まる.	1.9
音声認識の使用.	1.10

概要 (1/3)



ようこそ画面

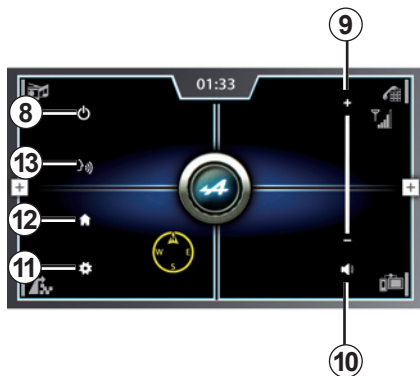
- A 使用中のマルチメディアソース（オーディオまたはビデオ）の画面にアクセスします。
- B 「phone」メニュー画面（着信、発信、電話帳、デジタルキーパッド）にアクセスします。
- C 「mySPIN」アプリケーション画面にアクセスします。
- D 以前に保存したナビゲーションマップまたは目的地ガイドにアクセスします。

- 1 音源選択画面にアクセスします。
- 2 現在時刻。
- 3 デバイス接続またはペアリングメニュー Bluetooth^(R) にアクセスします。
- 4 アプリケーションインターフェイスまたは mySPIN アプリケーションのリストにアクセスします。
- 5 「Alpine Telematics」インターフェイスにアクセスし、車両の技術的な設定の選択を絶えずリアルタイムに表示します。
- 6 保存画面にアクセスし、新しい目的地または新しいルートを保存します。



- 7 追加機能のショートカットにアクセスします (E 画面)。
詳細については、この章の「ポップアップメニュー」の項を参照してください。

概要 (2/3)



ポップアップメニュー画面

- 8 画面をスタンバイ状態に設定し、時計を表示します。

画面スタンバイが作動しているときに、マルチメディアシステム画面を押すと、ホーム画面に戻ることができます。

- 9 それぞれの要件に応じて正しく調整してください。

「+」シンボルを押すと音量が大きくなり、「-」シンボルを押すと音量が小さくなります。

- 10 サウンドのオフ。

- 11 ホーム画面からメイン設定メニューにアクセスします。

操作中の機能の設定メニューにアクセスします。

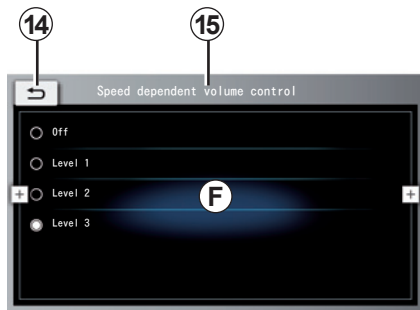
設定メニューを終了します。

- 12 ホーム画面にアクセスまたは戻します。

- 13 音声認識画面にアクセスします。わかりやすく大きな声で発音してください。

注：ポップアップメニューには、どのメニューからもアクセスできます。

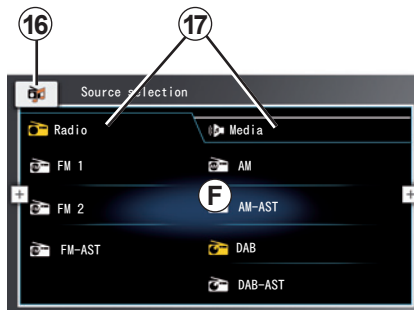
概要 (3/3)



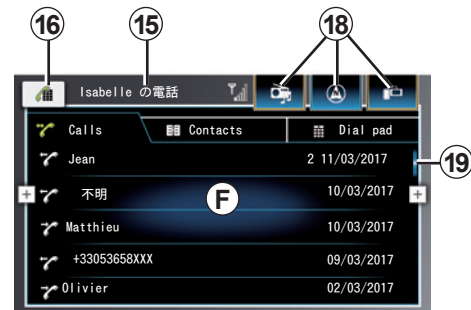
メニュースクリーン

F ページの内容。

- 14 「戻る」を押して、（メニューから）前の画面に戻ります。
- 15 使用中のメニューまたはソースの名前。



- 16 機能のメイン画面に切り替え、機能の設定にアクセスします。
- 17 タブを使用して、さまざまなメニュー機能にアクセスします。



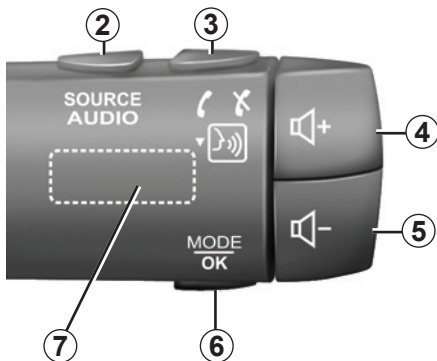
- 18 その他の主要な機能にすばやくアクセスします。
- 19 スクロールバー。

コマンドの説明

スクリーン制御



ステアリングホイールのコントロール



	機能
1	マルチメディア画面。
2	短く押すと、音源を選択できる。 長押しすると、ようこそ画面に戻る。
3	通話に応答する／通話を終了する（電話モード）。 2 番目の通話の着信時に通話を拒否する（電話モード）。 音声認識をオンにする。
4	現在聴いている音源の音量を上げる。
5	現在聴いている音源の音量を下げる。
4 + 5	現在再生中の音源のサウンドをミュートする／ミュート解除する。
6	短く押す： - 「Alpine Telemetrics」機能の各ページをスクロールする。 - 前の画面に戻ります。 長押しすると、「Alpine Telemetrics」機能が起動する。
7	ラジオのプリセットをスクロールする／フォルダ内でトラックを変更する。

作動原理 (1/3)



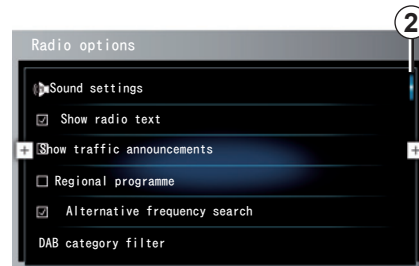
マルチメディア画面 1

メニューにナビゲート

マルチメディア画面 1 を使用して、マルチメディアシステムの機能にアクセスできます。マルチメディア画面 1 にタッチしてメニューを開くか、指を上から下にスライドさせて、別のページに移動します。スクロールバーに、ページ上の現在表示されている位置が示されます。詳細については、この章の「スクロールバー」を参照してください。

ジェスチャーインタラクション

- 一度タッチ : 指でスクリーンの一部にタッチして、スクリーンから指を離します。
- 長いタップ: ビープ音が鳴るまで、1 秒以上画面をタッチします。
- 「パン」(パノラミック移動): 1本の指を画面に押し当てたまま、画面を横切るようにスワイプさせます。
- ピンチ/スプレッド : 2本の指を画面上に置いて、指を互いに近づけたり離したりします。



スクロールバー

マルチメディア画面を上下にスワイプしてリストをスクロールして、ページ内を移動します。

バー 2 に、ページの現在の画面の位置が示されます。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

作動原理 (2/3)



ウェルカムメニューの説明

ウェルカムメニューにアクセスするには、3 ポップアップメニューボタンの1つを押して、4 ボタンを押します。

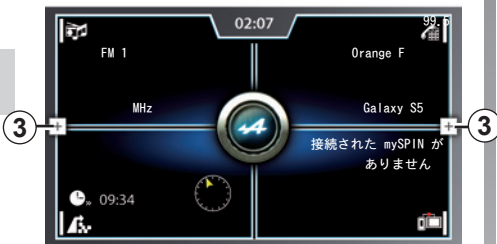
ウェルカムメニューは、次の5つのセクションで構成されています：

- 「Media」機能（エリア A）では、ラジオを操作したり、オーディオファイルやビデオファイルを再生したりできます。
- 「phone」機能（エリア B）では、マルチメディアシステムを電話とペアリングさせて、ハンズフリーモードで使用することができます。



- 「複製」機能（エリア C）では、「mySPIN」アプリケーションインターフェイスにアクセスして使用することができます。
- 「navigation」機能（エリア D）では、衛星ナビゲーション機能、マップ、および交通情報にアクセスして使用することができます。
- 「Alpine Telematics」機能（エリア E）では、車両の一部の技術的な設定を、絶えずリアルタイムに開いて使用することができます。

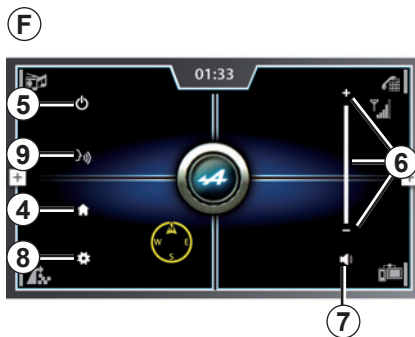
作動原理 (3/3)



ポップアップメニューの説明

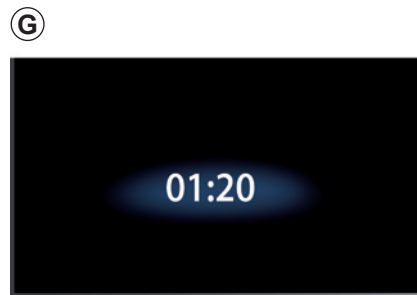
ポップアップメニュー（画面 F）には、すべてのマルチメディアシステムメニューからアクセスでき、ポップアップメニューからはマルチメディアシステムの主要な機能および設定にアクセスできます。

ポップアップメニューにアクセスするには、どのメニューからも 3 ボタンを押します。



ポップアップメニューは、次の 5 つのセクションで構成されています：

- 「スタンバイ」機能 5 では、マルチメディアシステムをスタンバイ状態にして、時計（G 画面）を表示することができます。
- 「サウンド」機能 6 では、好みに合わせて音を調整できます。「+」シンボルを押すと音量が大きくなり、「-」シンボルを押すと音量が小さくなります。7 ボタンを押すと、音をオフにすることができます。



- 「設定」機能 8 では、マルチメディアシステムの設定メニューや現在使用中の機能にアクセスすることができます。
- 「ホーム」機能 4 では、マルチメディアシステムのホーム画面に戻ることができます。
- 「音声認識」9 では、マルチメディアシステムの音声認識機能にアクセスし、機能を有効にすることができます。音声認識を使用して、目的地などを指示することができます。

進む／止まる

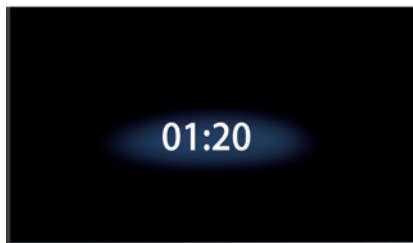


作動

開閉部のロックが解除されると、マルチメディアシステムが自動的に作動を開始します。画面を押すと、スタンバイ画面が終了し、マルチメディアシステムのようにこそ画面が開きます。

停止

イグニッションスイッチが OFF の状態で運転席のドアを開くと、システムが自動的に非作動になります。




時間画面

イグニッションスイッチを ON にする前に運転席のドアを開くと、この画面が表示されます。

音声認識を使用する (1/3)

はじめに

マルチメディアシステムには、音声認識システム  があり、これを使用してマルチメディアシステムの特定の機能を制御することができます。これにより、ステアリングホイールを握ったまま、マルチメディアシステムを使用することができます。

音声認識によるマルチメディアの使用

メイン音声制御メニューから、音声コマンドを使用して次の機能を制御できます。

- 「navigation」、
- 「Media」、
- 「phone」



ナビゲーションに関する注意事項

ナビゲーションシステムを使用したからといって、いかなる場合にも、運転する際の運転者の責任と警戒がなくなるわけではありません。



「navigation」

「navigation」モードでは、次の操作を音声コマンドで実行できます：

- ナビゲーションの目的地の住所を入力する
- ナビゲーションのランドマークを選択する
 - 自宅の住所までのガイド付きナビゲーションを開始する
- 以前の目的地からガイド付きナビゲーションの目的地を選択する
- 現在のガイド付きナビゲーションをキャンセルする

「Media」

「Media」モードでは、次の操作を音声コマンドで実行できます：

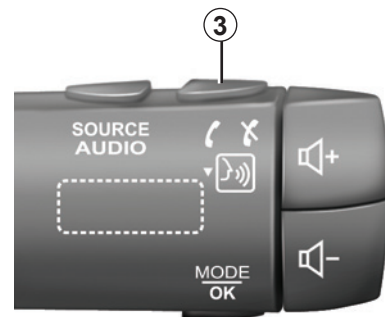
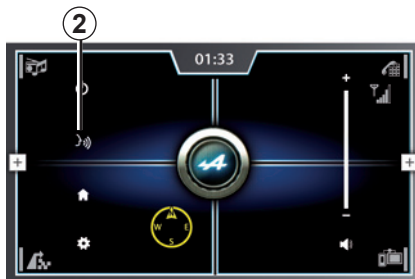
- 特定のオーディオトラックを再生する
- オーディオブックの再生を開始する
- ポッドキャストを聴く

「phone」

「phone」モードでは、次の操作を音声コマンドで実行できます：


- 連絡先に電話をかける
- 番号をダイヤルする

音声認識を使用する (2/3)



作動


どのメニューからでも音声認識システムを作動および起動させるには、次の手順を実行します：

- 1 ボタンの 1 つを押します。
-  2 ボタンを押します。

または

- ステアリングコラムコントロールの 3 ボタンを押し、指示に従います。

ビープ音によって、音声認識が作動し、マルチメディアシステムが指示を待っていることが示されます。

音声認識を使用しているときに、音声セッションを中断することができます。これを行うには、ポップアップメニューの  ボタンを押すか、ステアリングコラムコントロールの音声認識ボタンを押します。ビープ音が鳴るまで待って、「キャンセル」と言います。音声セッションが終了します。

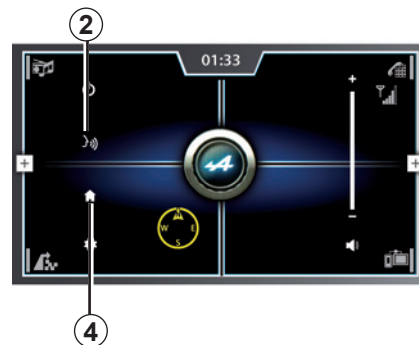
音声認識を使用する (3/3)



使用方法

音声認識を作動させると、ピープ音が鳴り、A 画面が表示されることで、セッションが開始されてマルチメディアシステムが指示を待っていることが示されます。

マルチメディア画面の A 画面に使用可能なさまざまな音声指示が表示されます。選択されているモード（ナビゲーション、電話、メディア）によって、さまざまな音声指示を使用することができます。希望する操作を選択し、大きな声ではっきりと言ってください。




注：特定の音声指示は、名前または番号に関連付けられています。例えば、「<連絡先> に電話」では、表示された操作に加えて、電話をかける連絡先の名前または番号を言ってください。

注：電話番号を言う際は、数字を 2 つずつ（例：06-12-56-78）言うのではなく、1 つずつ（例：0-6-1-2-5-6-7-8）言うことをおすすめします。

作動解除

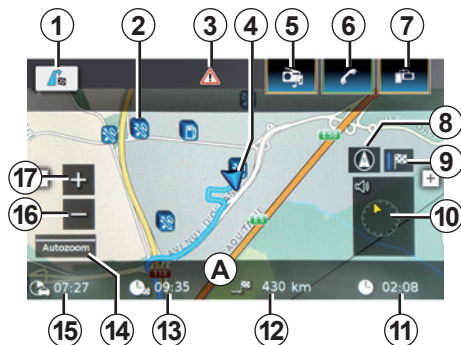
ホーム画面から音声認識システムを解除するには、次の手順を実行します：

- 1 ボタンの 1 つを押し、 4 キーを押します。
- または
- 「キャンセル」と言います。

ナビゲーション

カードキー	2.2
行き先を入力	2.3
交通	2.12
ナビゲーションの設定	2.14
	2.1

カードキー



地図の凡例

A 現在の通りまたは道路の名前。

- ナビゲーションメニューにアクセスします。
- ランドマークシンボルの例。
- 交通情報アイコン。
押す： ルートについての交通事故のリストにアクセスするショートカット。
- 現在の位置。



- 「Media」メニューへのショートカット。
- 「phone」メニューへのショートカット。
- 「mySPIN」メニューへのショートカット。
- 表示モード（2D、2D 北、および3D）を変更します。
- ルートの概要（ガイダンスを実行中の場合）。

10 表示： 残りの走行距離と次の操作の指示。

押す： ルートについての別の情報にアクセスするショートカット。

- 現在時刻。
- 目的地までの残りの距離を表示します。
- 到着予定時刻。
- 現在の地図のスケール。
- 目的地への到着予定時刻。
- 地図を縮小します。
- 地図を拡大します。
- ポップアップメニューにアクセスします。
- カーソルの位置 4 に戻ります（ガイダンスを実行中でない場合）。

注： 地図のアップデートは定期的に発行されます。更新は、SD カードの形態で指定サービス工場から入手可能です。

目的地を入力する (1/9)



1

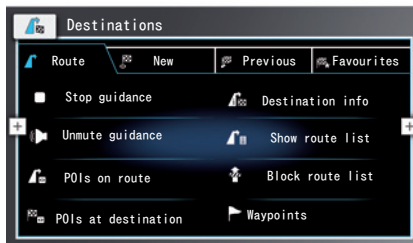


「Destinations」 メニュー

「Destinations」メニューでは、いくつかの方法で目的地を入力することができます。

ホーム画面から、1 アイコンを押し、次のメニューにアクセスします：

- 「Route」（ナビゲーションを実行中の場合のみ使用可能）
- 「New」
- 「Previous」
- 「Favourites」



注：ルートまたは目的地を以前に保存した場合は、A エリアを押して、そのルートまたは目的地のナビゲーション画面に直接アクセスします。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



「Route」

この機能を使用して、ルートに関連する情報を管理および表示することができます。「Route」タブを押して、次の機能を使用できます：

- 「Stop guidance」
- 「Mute guidance」または「Unmute guidance」
- 「POIs on route」
- 「POIs at destination」
- 「Destination info」
- 「Show route list」
- 「Block route list」
- 「Waypoints」

注：この機能は、ガイド付きナビゲーションを実行中の場合のみ使用できます。



「Stop guidance」

この機能では、実行中のナビゲーションを停止して削除することができます。

注：「Stop guidance」機能を選択すると、「Route」の見出しは使用できなくなります。

目的地を入力する (2/9)



「Unmute guidance」
または「Mute
guidance」

この機能では、音声ガイドを作動または解除することができます。この機能を解除すると、マルチメディアシステムから音声ガイドによる指示は行われません。



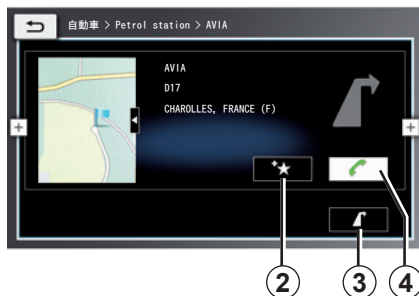
「POIs on route」

この機能では、ルート上のランドマークを検索して表示することができます。

ランドマーク (POI) は、ある場所 (出発地点、目的地、ルートの途中など) の近くのサービスエリア、施設、さらには観光エリアとなります。ランドマークは、レストラン、美術館、駐車場などのカテゴリで分類されます。

名前で検索する

リストには、ルート上で検出されたすべてのランドマークが表示されます (ランドマークがある場合)。ランドマークは、タイプ別 (自動車、ホテル、銀行など) に分類されています。



選択したランドマークを確定する
希望するランドマークを選択して 3 ボタンを押すと、この新しいルートが、ルートの目的地またはステージとして設定されます。2 ボタンを押すと、選択したランドマークをお気に入りに登録できます。

電話が Bluetooth[®] によりマルチメディアシステムに接続されている場合、4 を押すことで、選択されたランドマークに電話をかけることができます (電話番号が関連付けられている場合)。



検索するランドマークの種類を選択してリストを絞り込むか、B キーパッドを使用してランドマークの名前を入力します。

音声認識の使用

走行中にポップアップメニューボタンを押して音声認識アイコンを押すか、ステアリングコラムコントロールの音声認識ボタンを押します。ビープ音によって、音声認識が作動し、マルチメディアシステムが指示を待っていることが示されます。

目的地を入力する (3/9)



「POIs at destination」

この機能では、目的地付近のランドマーク (POI) を検索して表示することができます。

名前で検索する

リストには、目的地付近で検出されたすべてのランドマークが表示されます (ランドマークがある場合)。ランドマークは、タイプ別 (自動車、ホテル、銀行など) に分類されています。

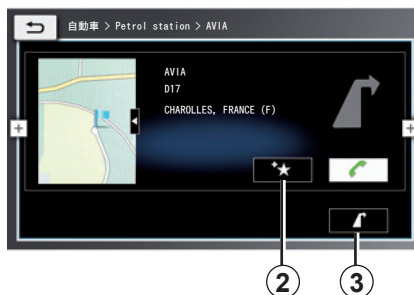
注：デジタル地図でシステムに認識されている住所だけが許可されています。



「Destination info」

この機能で、次の操作を実行できます：

- 目的地に関する詳細情報を見る (目的地の住所メモリを表示したり、目的地を地図上に表示したりできます)



- 2 ボタンを押して、目的地の住所をお気に入りに追加する (詳細については、この章の「Add favourites」の項を参照してください)
- 3 ボタンを押して、目的地のナビゲーションマップに戻る

「Add favourites」

この機能で、次の操作を実行できます：

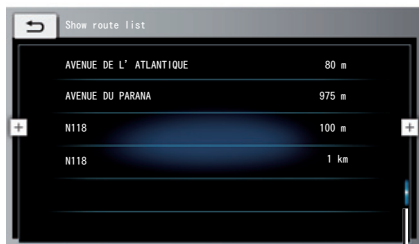
- お気に入りに登録する連絡先の名前を編集するには、「名前の変更」を押し、デジタルキーパッドを使用して名前を入力します。
- 表示されている名前で目的地の住所をお気に入りに登録するには、「表示名で保存」を押します。
- 目的地の住所を自宅の住所としてお気に入りに登録するには、「自宅の住所として保存」を押します。以前に登録された自宅の住所がある場合は、マルチメディアシステムが、登録されている住所を置き換えるかどうかを尋ねてきます。

注：マルチメディアシステムには、1つの自宅の住所しか保存できません。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

目的地を入力する (4/9)



5



「Show route list」

この機能では、ルートに関するすべてのガイド付きナビゲーションの指示を表示できます。

バー 5 に、ページの現在の画面の位置が示されます。マルチメディア画面を上下にスワイプしてリストをスクロールして、ページ内を移動します。



「Block route list」

この機能を使用して、この先に設定されているルート上のステージを強調表示し、それらをルートから外すことができます。

ルート上で強調表示するステージを選択します。選択されたステージが明るく表示されます。「Recalculate route」を押し、マルチメディアシステムにルートを再計算させ、強調表示したステージを外させます。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



2



「Waypoints」

この機能を使用して、ルートに含まれる異なるステージを表示し、それら（すべてまたは一部）を削除したり、新しい 1 つまたは複数のステージをお気に入りに追加したりできます。方法:

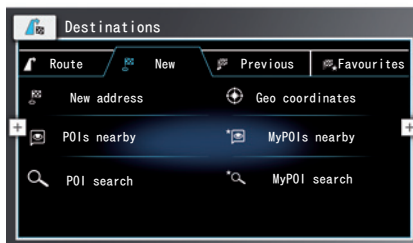
- 2 ボタンを押して、選択したステージをお気に入りに追加することができます（詳細については、この章の「Add favourites」の項を参照してください）。

目的地を入力する (5/9)



「Waypoints」
(続き)

- このステージをルートから削除するには、6 ボタンを押します。
 - ルート上のすべてのステージを削除するには、7 ボタンを押します。
- 1 つまたは複数のステージを削除しようとする前に、マルチメディアシステムによって確認を求められます。 確認を承諾して続行します。



「New」

この機能では、新しい目的地を作成し、ルートにステージを追加し、現在地の位置に関連した情報またはサービスを検索することができます。

「New」タブを押して、次の機能を使用できます：

- 「New address」
- 「POIs nearby」
- 「POI search」
- 「Geo coordinates」
- 「MyPOIs nearby」
- 「MyPOI search」

音声認識の使用

走行中にポップアップメニューボタンを押して音声認識アイコンを押すか、ステアリングコラムコントロールの音声認識ボタンを押します。 ビープ音によって、音声認識が作動し、マルチメディアシステムが指示を待っていることが示されます。

目的地を入力する (6/9)



8



「New address」

この機能を使用して、新しい目的地を入力したり、ルートにステージを追加したりできます。

注：新しい目的地を入力すると、以前の目的地が自動的に置き換えられます。

「New address」機能を押して、住所（国、市区町村、道路、および番地）のすべてまたは一部を入力します。



9

最初に と を使用するとき、目的地の国を選択するよう求められます。

デジタルキーパッドを使用して希望する市区町村の名前または郵便番号を入力し、「OK」を押して確認します。

システムが複数の町名を提案します。

マルチメディアシステムによって提案されたリストから市の名前を選択し、選択を確定します。

「Street」、「House number」、および「Intersection」フィールドについても、同じ手順を実行します。

注：9 ボタンを押して、デジタルキーパッドを非表示にして結果リストをすべて表示することができます。

注：システムは、最後に入力された住所をメモリに記憶します。これらの町の1つを直接選択します。

注：デジタル地図でシステムに認識されている住所だけが許可されています。

目的地を確定します。

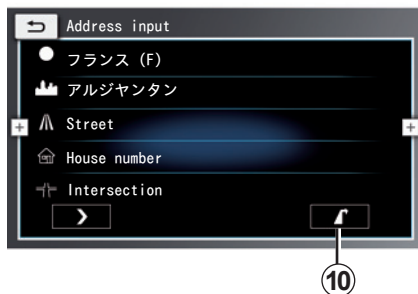
目的地情報を入力すると、確認のためルートの概要が表示されます。

- ルートを確定する前に、8 ボタンを押して、用意されたルートの詳細情報を確認します。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

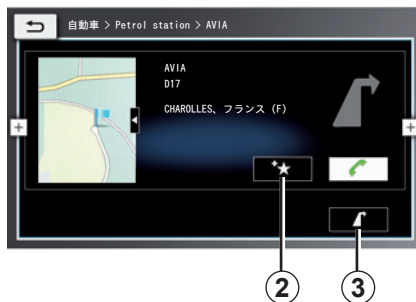
目的地を入力する (7/9)



- 10 ボタンを押して、ルートを確定します。マルチメディアシステムによって、以前に入力された目的地が今回入力された新しい目的地に置き換えられるか、新しい目的地がルート上のステージとして追加されます。

希望するオプションを選択し、ナビゲーションを続行します。

注：ルート設定で計算の条件を変更することができます（詳細については、「ナビゲーションの設定」の項を参照してください）。



「POIs nearby」

この機能では、現在地付近のランドマークを検索して表示することができます。

名前で検索する

リストには、現在地付近で検出されたすべてのランドマークが表示されます（ランドマークがある場合）。ランドマークは、タイプ別（自動車、ホテル、銀行など）に分類されています。

希望するランドマークを選択して 10 ボタンを押すと、この新しいルートが、ルートの目的地またはステージとして設定されます。

2 ボタンを押すと、選択したランドマークをお気に入りに登録できます。



「POI search」

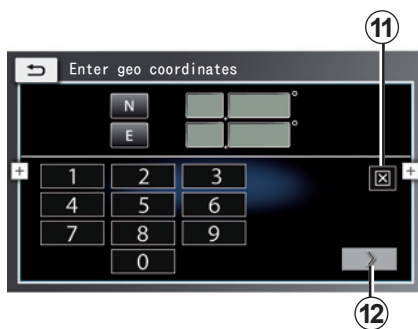
この機能では、マップ上の任意の地点にあるランドマークを検索して表示することができます。

希望するランドマークがある国および市区町村を入力し、カテゴリー（自動車、ホテル、銀行など）を選択します。デジタルキーパッドを使用して名前を入力し、ランドマークを検索することができます。

希望するランドマークを選択して 3 ボタンを押すと、この新しいルートが、ルートの目的地またはステージとして設定されます。

2 ボタンを押すと、選択したランドマークをお気に入りに登録できます。

目的地を入力する (8/9)



「Geo coordinates」

この機能では、GPS 座標（緯度および経度）を使用して目的地を定義することができます。

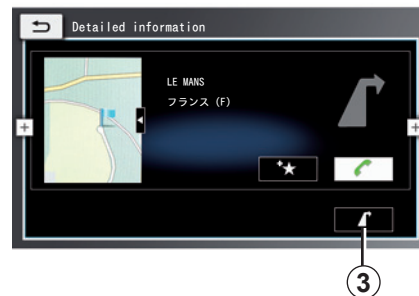
デジタルキーパッドを使用して GPS 座標を入力し、12 ボタンを押して確定します。

入力した座標を削除するには、11 ボタンを押します。



「MyPOI search」

この機能では、目的地を現在地および以前にお気に入りに登録した場所の近くにあるランドマークとして定義することができます。



「Previous」

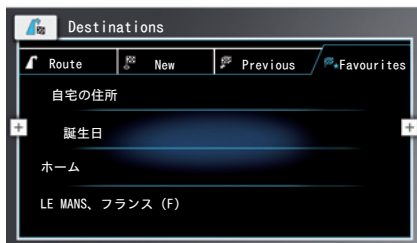
この機能を使用して、以前に入力した目的地またはルートを選択することができます。

目的地または必要なルートを選択し、3 ボタンを押すと、ナビゲーションが開始されます。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

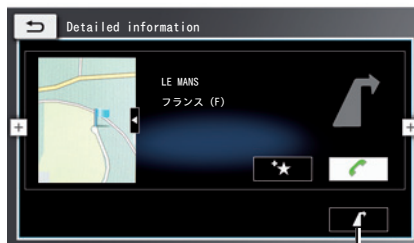
目的地を入力する (9/9)



音声認識の使用

走行中にポップアップメニューボタンを押し、音声認識アイコンを押します。ピープ音が鳴ったら、市の名前、道路の名前および番地、ランドマークなどを言います。

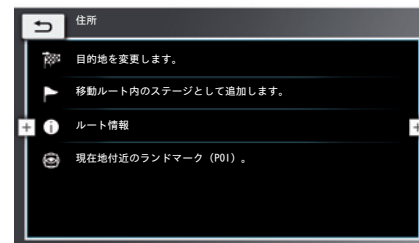
この機能は、車両の販売国でのみ利用可能です。



「Favourites」

この機能を使用して、以前に保存した目的地またはルートを選択することができます。

目的地または必要なルートを選択し、3 ボタンを押すと、ナビゲーションが開始されます。



マップ上の任意の地点から次の操作を実行できます：

- 進行中の目的地を変更する
- その場所を、進行中の移動ルートの新しいステージとして追加する
- 選択項目に関する詳細情報にアクセスし、お気に入り追加する
- 選択した地点周辺のランドマーク (POI) を検索する

交通 (1/2)



「交通」メニュー

メインメニューから A エリアを押して 1 アイコンを押すと、ルートに関連した交通情報 (B 画面) にアクセスできます。

この機能は、FM 周波数帯の TMC (交通メッセージチャンネル) 情報放送サービスを使用しています。このサービスは、交通事象を地図上にドットで示します。主要ルートをカバーします。

「交通」サービスを利用できるかどうかは状況によって異なります。



ナビゲーションに関する注意事項

ナビゲーションシステムを使用したからといって、いかなる場合にも、運転する際の運転者の責任と警戒がなくなるわけではありません。

B



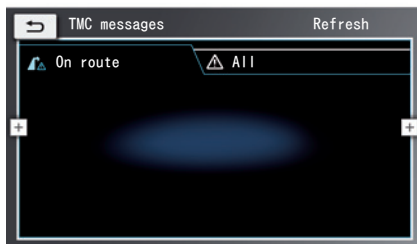
交通ディスプレイ

ナビゲーションシステムは次の方法で交通事象を示します：

- 地図上の影響を受ける道路を強調表示
- 地図上に交通アイコンを表示する。

交通事象が発表されると、ナビゲーション画面に交通アイコン 1 が表示されます。ルート上で事象が発生すると、アイコンがルート上の次の事象のタイプを示します。

交通 (2/2)



「交通」画面

「交通」画面から次の機能にアクセスできます：

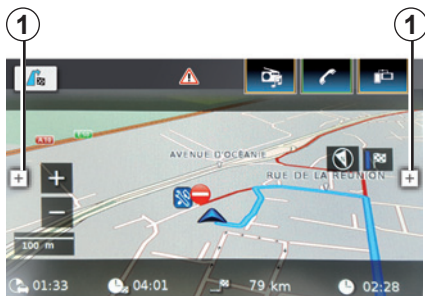
- 「On route」：この機能では、ルートに関連する交通情報をリアルタイムに表示することができます。
- 「All」：この機能では、現在の地域の交通情報を表示することができます。
- 「Refresh」：この機能では、受信した交通情報のリストを更新することができます。




ナビゲーションに関する注意事項

ナビゲーションシステムを使用したからといって、いかなる場合にも、運転する際の運転者の責任と警戒がなくなるわけではありません。

ナビゲーションの設定 (1/3)



ナビゲーション設定メニュー

「ナビゲーション」メニューから、ポップアップメニュー 1 にあるボタンの 1 つを押し、 2 を押します。

次の機能から設定する機能を選択します：

- 「Route options」
- 「Guidance and map settings」
- 「Position and GPS info」

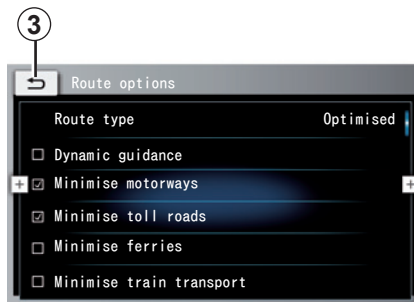


- 「My POIs」
- 「Geo coordinate format」

「Route options」

この機能で、次の操作を実行できます：

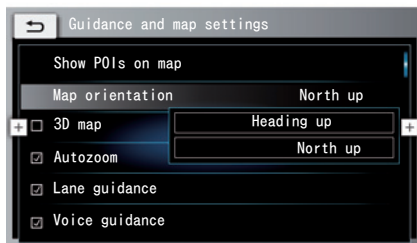
- 必要なルートのタイプ（「Fastest」、「Optimised」、または「Shortest」）を選択する
- ダイナミックガイダンスを有効または無効にする：ガイダンス実行中に、マルチメディアシステムが最新の交通情報を考慮に入れて自動的にルートを再計算できるようになります。
- 高速道路の回避を有効または無効にする



- 有料道路の回避を有効または無効にする
- フェリーの回避を有効または無効にする
- 鉄道輸送の回避を有効または無効にする
- 未舗装道路の回避を有効または無効にする
- 季節規制道路の回避を有効または無効にする
- 部分的にしか使用できない道路の回避を有効または無効にする

機能の設定が終了したら、3 ボタンを押して設定メニューに戻ります。

ナビゲーションの設定(2/3)



「Guidance and map settings」

この機能で、次の操作を実行できます：

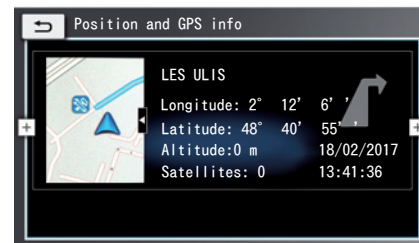
- 地図上に表示するランドマークのタイプを有効または無効にする
- 必要な地図の向き（「Heading up」または「North up」）を選択する
- 3D マッピングを有効または無効にする
- 「Autozoom」機能を有効または無効にする：ナビゲーション条件が揃えば、マルチメディアシステムによって自動的に現在地が拡大されます。

- 車線ガイドを有効または無効にする：マルチメディアシステムによって補足的なガイド指示（4車線道路での走行車線の指示など）が画面に表示されます。
- 音声ガイドを有効または無効にする：マルチメディアシステムの音声シンセサイザーにより、音声でナビゲーション指示が与えられます。
- 運転時の推奨事項の表示（走行している道路の速度制限の表示など）を有効または無効にする
- 交通情報の音声アナウンスを有効または無効にする



ナビゲーションに関する注意事項

ナビゲーションシステムを使用したからといって、いかなる場合にも、運転する際の運転者の責任と警戒がなくなるわけではありません。



「Position and GPS info」

この機能により、現在地に関連した次の情報にアクセスすることができます：

- 町の名前
- 経度
- 緯度
- 標高
- 検出された衛星の数

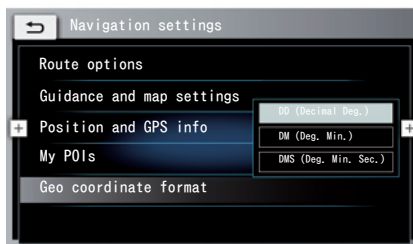


安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

ナビゲーションの設定(3/3)

「My POIs」

この機能では、以前に記憶させたランドマークを編集（名前の変更、削除など）することができます。



「Geo coordinate format」

この機能では、地理座標の表示形式を定義することができます。

次のオプションから必要な地図の表示を選択します：

- 「DD (Decimal Deg.)」：10 進法による度
- 「DM (Deg. Min.)」：度、分
- 「DMS (Deg. Min. Sec.)」：度、分、秒



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

マルチメディア

ラジオを聞く.	3.2
メディア.	3.11
ビデオ.	3.14
	3.1

ラジオを聴く (1/9)



マルチメディアメニュー

ようこそ画面から A エリアまたは 1 アイコンを押して、画面の最上部にある「Radio」を押します。

注：ラジオがすでに作動している場合は、A エリアを押して、ラジオ画面に直接アクセスします。

「AST」モードを使用して、現在の地域において受信状況および音質の良いラジオ局を自動的に記憶させることができます。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

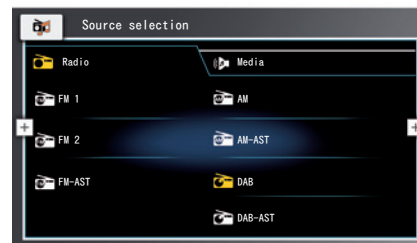


「Radio」

周波数帯を選択する

希望する周波数を選択します：

- 「FM」、
 - 「AM」、
- または
- 「DAB」



「FM」

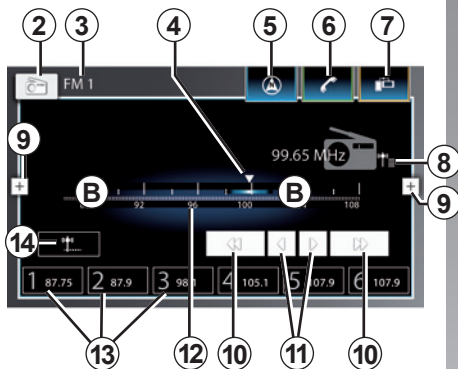
「FM」局を選ぶ

必要なラジオモードを選択します：

- 「FM 1」
 - 「FM 2」
- または
- 「FM-AST」

注：黄色のアイコンに現在聴いている機能が表示されます。

ラジオを聴く (2/9)



「FM」ラジオ画面

- 音源選択画面にアクセスします。
- 現在使用されている周波数帯およびモード。
- 周波数インジケータ。
- 「navigation」メニューへのショートカット。
- 「phone」メニューへのショートカット。
- 「mySPIN」メニューへのショートカット。
- 使用可能なラジオ局のリストを表示します（「FM」モードのみ）。
- ポップアップメニューにアクセスします。
詳細については、この章の「ポップアップメニュー」の項を参照してください。
- 周波数の自動検索を開始します。
- 周波数のマニュアル検索を開始します。
- 周波数表示バー。 B 周波数エリアを繰り返し押して周波数を表示させるか、4 周波数インジケータを選択し、インジケータを B 周波数バーに沿って希望する周波数までスライドさせます。
- 以前に記憶させたラジオ局のボタン。
- ラジオ局の自動記憶を開始します（「AST」モードのみ）。

さまざまな周波数モードを使用する

このモードでは、選択した周波数範囲をスキャンすることで、マニュアルまたは自動で局を検索できます。

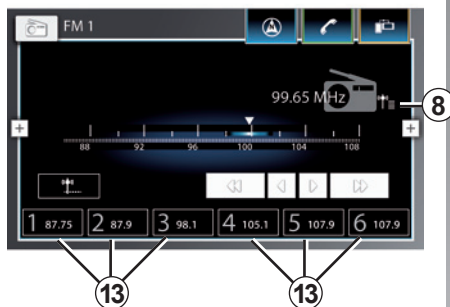
周波数範囲のスキャンには、次の 2 つのオプションがあります：

- マニュアル検索：B 周波数エリアを繰り返し押すか、11 ボタンの 1 つを押して、周波数を順にスキャンします。
- 自動検索：10 を押して、次の局まで進むか戻ります。

ラジオ局を記憶させる

ラジオ局を記憶させるには、ラジオ画面の一番下にある 6 つの 13 ボタンの 1 つを長押しします（約 3 秒間）。 「Preset X stored.」というメッセージが表示されたら、ラジオ局が記憶されたことがわかります。

ラジオを聴く (3/9)



ラジオ局モード（「FM」のみ）

このモードでは、アルファベット順に表示されるリストから簡単にラジオ局を検索できます。ラジオ局を 50 局までスキャンできます。

使用可能なラジオ局のリストにアクセスするには、次の手順を実行します：

- 8 アイコンを押します。
- リストを（上下に）スワイプし、ラジオ局をスクロールします。
- スクロールを止めたところで表示されたラジオ局（画面の中央に表示されたラジオ局）が再生されます。



注：リストにあるラジオ局を押しても聴くことができます。

マルチメディアシステムによって提案されたラジオ局リストを更新するには、「Refresh」タブ 15 を押します。

注：ラジオ局が「AST」システムを使用していない場合、またはラジオの受信状態が悪いエリアに車両がある場合、ラジオ局の名前は画面に表示されません。周波数だけが表示され、リストの最初にランクされます。

プリセットモード

このモードでは、以前に記憶させたラジオ局にアクセスできます。

詳細については、この章の「ラジオ局を記憶させる」を参照してください。

13 ボタン（FM1 モードの場合は 1 ~ 6、FM2 モードの場合は 7 ~ 12）の 1 つを押して、聴きたいラジオ局を選択します。

注：各周波数帯に 6 局まで記憶できます。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

ラジオを聴く (4/9)



「AM」

「AM」局を選ぶ

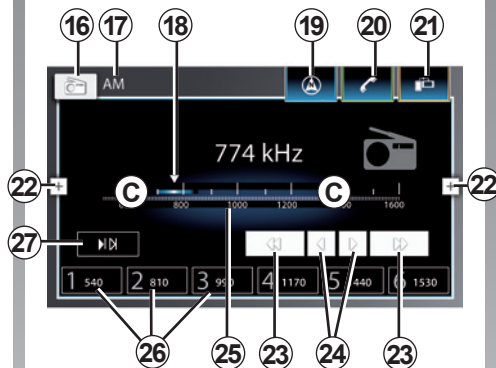
必要なラジオモードを選択します：

- 「AM」、
- または
- 「AM-AST」) を選択します。

注：「AM」周波数帯は、「FM」周波数帯と比べてラジオ受信範囲は広いですが、音質は良くありません。

ラジオ画面「AM」

- 16 音源選択画面にアクセスします。
- 17 現在使用されている周波数帯およびモード。
- 18 周波数インジケータ。
- 19 「navigation」メニューへのショートカット。
- 20 「phone」メニューへのショートカット。

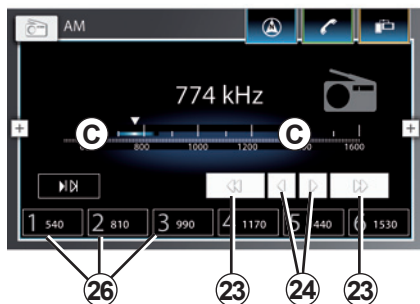


- 21 「mySPiN」メニューへのショートカット。
- 22 ポップアップメニューにアクセスします。詳細については、この章の「ポップアップメニュー」の項を参照してください。
- 23 周波数の自動検索を開始します。
- 24 周波数のマニュアル検索を開始します。



- 25 周波数表示バー。C 周波数エリアを繰り返し押し続けて周波数を表示させるか、18 周波数インジケータを選択し、インジケータを C 周波数バーに沿って希望する周波数までスライドさせます。
- 26 以前に記憶させたラジオ局のボタン。
- 27 周波数スキャン機能を再開します。
- 28 ラジオ局の自動記憶を開始します（「AST」モードのみ）。

ラジオを聴く (5/9)



さまざまな周波数モードを使用する

このモードでは、選択した周波数範囲をスキャンすることで、マニュアルまたは自動で局を検索できます。周波数範囲のスキャンには、次の 2 つのオプションがあります：

- マニュアル検索：
 - C 周波数エリアを繰り返し押し、周波数を順にスキャンします。

または

- 周波数インジケータを選択し、インジケータを C 周波数バーに沿って希望する周波数までスライドさせます。

または

- 24 ボタンの 1 つを押します。
- 自動検索：23 を押して、次の局まで進むか戻ります。

プリセットモード

このモードでは、以前に記憶させたラジオ局にアクセスできます。

詳細については、この章の「ラジオ局を記憶させる」を参照してください。26 (1 ~ 6) のスイッチの 1 つを押して、聴きたいラジオ局を選択します。

注：6 局まで記憶できます。

ラジオ局を記憶させる

ラジオ局を記憶させるには、ラジオ画面の一番下にある 6 つの 26 ボタンの 1 つを長押しします (約 3 秒間)。「Preset X stored.」というメッセージが表示されたら、ラジオ局が記憶されたことがわかります。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

ラジオを聴く (6/9)



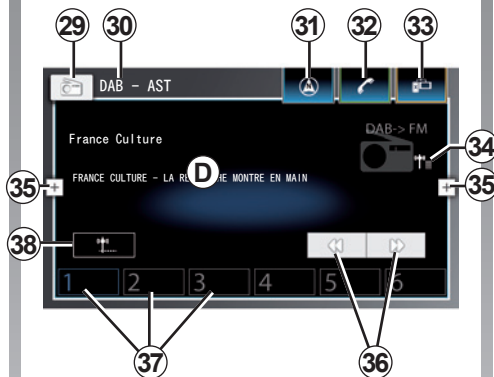
「DAB」

「DAB」局を選ぶ (デジタルラジオ)

デジタルラジオでは、より多くのラジオ局をより高音質で聴くことができ、曲名、音楽ジャンル、番組の詳細などの情報を見ることができます。

必要なラジオモードを選択します：

- 「DAB」
- または
- 「DAB-AST」



ラジオ画面「DAB」

- 29 音源選択画面にアクセスします。
- 30 現在使用されている周波数帯およびモード。
- 31 「navigation」メニューへのショートカット。
- 32 「phone」メニューへのショートカット。
- 33 「mySPIN」メニューへのショートカット。

- 34 使用可能なラジオ局のリストを表示します。
- 35 ポップアップメニューにアクセスします。
- 36 周波数の自動検索を開始します。
- 37 以前に記憶させたラジオ局のボタン。
- 38 ラジオ局の自動記憶を開始します（「AST」モードのみ）。

D DAB サービス情報エリア。

ラジオ局を記憶させる

ラジオ局を記憶させるには、ラジオ画面の一番下にある 6 つの 37 ボタンの 1 つを長押しします（約 3 秒間）。 「Preset X stored.」というメッセージが表示されたら、ラジオ局が記憶されたことがわかります。

ラジオを聴く (7/9)



ポップアップメニュー 39

どのモードからもポップアップメニューを使用して、ラジオ設定にアクセスできます。39 を押し、40 を押して設定にアクセスし、次の機能を設定します：

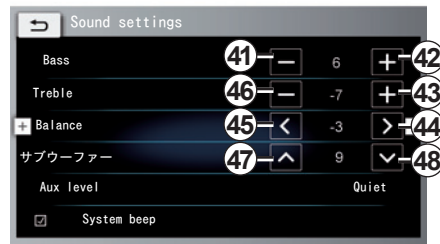
- 「Sound settings」
- 「Show radio text」
- 「Show traffic announcements」
- 「Regional programme」
- 「Alternative frequency search」
- 「DAB category filter」
- 「Show DAB extra information」
- 「DAB-FM linking」



「Sound settings」

このメニューで次の項目を設定できます：

- 「Bass」：この機能では、低音域を増強したり抑制したりできます。値を調整するには、ボタン 41 および 42 を押します。
- 「Treble」：この機能では、高音域を増強したり抑制したりできます。値を調整するには、ボタン 46 および 43 を押します。
- 「Balance」：この機能を使用して、音のバランスを調整できます。値を調整するには、ボタン 45 および 44 を押します。



- 「サブウーファー」：この機能では、低音域を増強したり抑制したりできます。値を調整するには、ボタン 47 および 48 を押します。

極端にマイナスの値にすると、左側のスピーカーの音量が大きくなり、右側のスピーカーの音量が小さくなります。

極端にプラスの値にすると、右側のスピーカーの音量が大きくなり、左側のスピーカーの音量が小さくなります。

ラジオを聴く (8/9)

- 「Speed dependent volume control」：この機能を有効にすると、オーディオシステムの音量が車両の速度に応じて変化します。レベル（「Level 1」、「Level 2」、「Level 3」、または解除）を選択し、感度を調整できます。
- 「Aux level」：この機能を使用して、ジャックの感度 Jack を調整できます。感度を高くする場合は「Loud」、感度を標準にする場合は「Normal」、また感度を低くする場合は「Quiet」を選択します。
- 「System beep」：この機能を有効にすると、マルチメディアシステムによってメッセージが画面に表示されたとき、またはステアリングコラムコントロールボタンの 1 つを長押ししたときにピープ音が鳴るようになります。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

「Show radio text」 (テキスト情報)

一部の FM ラジオ局は、番組に関連するテキスト情報（例えば曲名）を送信しています。これらの詳細を表示する場合は、この機能を有効にします。

注：これらの情報は、一部のラジオ局でのみ使用可能です。

「Show traffic announcements」 (交通情報)

一部の FM ラジオ局は、交通に関連するテキスト情報を送信しています。これらの詳細を表示する場合は、この機能を有効にします。

「Regional programme」

「FM」ラジオ局の周波数は、地域によって変更される事があります。

この機能を有効にして、走行中に同じラジオ局を続けて聴取します。マルチメディアシステムは、中断することなく周波数の変更に対応します。

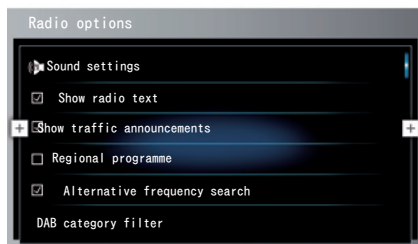
注：同じエリアの局が異なる番組を放送したり、異なる番組名を使用したりする場合があります。

「Alternative frequency search」

この機能を有効にすると、マルチメディアシステムがバックグラウンド検索を実行し、ラジオ局を聴くのに最適な受信周波数に調整できるようになります。

カテゴリまたは機能の横にあるボックスにチェックが付いていれば、そのカテゴリまたは機能は有効な状態です。ボックスが空であれば、そのカテゴリまたは機能は無効な状態です。

ラジオを聴く (9/9)



「DAB category filter」

この機能では、「ニュース」、「カルチャー」、「スポーツ」などのさまざまなカテゴリーのサービス DAB を有効にし、聴くカテゴリーを絞り込むことができます。聴くサービスのカテゴリーを有効にするには、関連する行を押します。

注：「DAB category filter」を有効にすると、「PTY」シンボルが DAB ラジオ画面に表示されます。

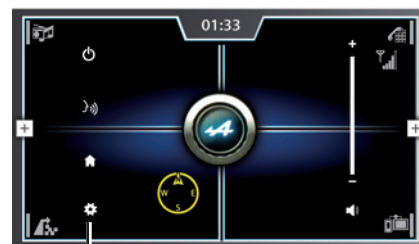


「Show DAB extra information」

この機能を有効にすると、その他の DAB の詳細情報が表示されます。

「DAB-FM linking」

この機能を有効にすると、DAB サービスを使用できないときに、マルチメディアシステムが自動的に「FM」モードに切り替わるようになります。



ポップアップメニューを終了する

ラジオ設定メニューからラジオ画面に戻るには、39 ポップアップメニューボタンをもう一度押して、40 を押します。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

メディア (1/3)



マルチメディア メニュー

メインメニューから 1 アイコンを押し、「Media」タブを押します。

注：メディアソースがすでに再生されている場合は、A エリアを押して、関連するメディア画面に直接アクセスします。

注：オーディオフォーマットによっては、マルチメディアシステムとの互換性がない場合があります。

注：使用する USB フラッシュドライブ（またはSD カード）は、FAT32 または NTFS 形式でフォーマットされており、最大 64GB の容量が必要です。互換性のあるオーディオフォーマットの詳細については、指定サービス工場にお問い合わせください。



「Media」

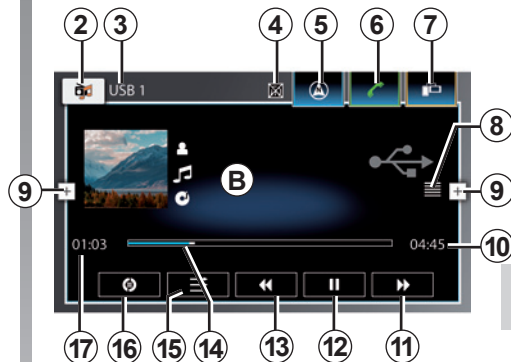
このメニューから補助ソース（iPod、USB スティック、SD カードなど）に保存された音楽を聴くことができます。



次のリストからシステムに接続された入力ソースを選択して、互換性のあるオーディオファイルにアクセスします：

- 「Bluetooth」、
- 「3D map」
- 「USB 1」
- 「USB 2」
- 「iPod」
- 「Aux」

注：使用可能なソースのみが画面に表示され、選択できます。

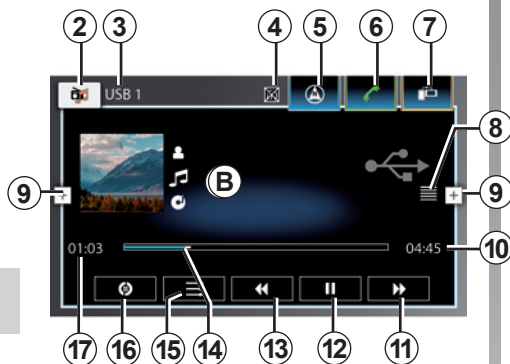


オーディオ画面

B 現在再生中のオーディオトラックの情報（アーティスト、曲名、アルバム、およびアルバムカバー）。

- 1 ホーム画面から音源選択画面にアクセスします。
- 2 現在再生中の音源画面から音源選択画面にアクセスします。
- 3 再生中のソース。

メディア (2/3)



オーディオ画面

(続き)

- 4 交通情報（交通情報アナウンスが無効になっている場合は、ロゴが表示されて警告されません）。
- 5 「navigation」メニューへのショートカット。
- 6 「phone」メニューへのショートカット。
- 7 「mySPIN」メニューへのショートカット。

8 再生中のメディアのブラウザを開きます（曲名、アーティスト、アルバム、ジャンル別のランキングを表示したり、接続された入力ソースにアクセスしたりできます）。

9 ポップアップメニューにアクセスします。詳細については、「ラジオを聴く」の項を参照してください。

10 再生中のオーディオトラックの長さ。

11 短く押す：次のオーディオトラックを再生します。

押し続ける：早送りします。

12 オーディオトラックの再生を一時停止／再開します。

13 短く押す：前のオーディオトラックを再生するか、現在のオーディオトラックを最初から再生します。

押し続ける：巻き戻します。

14 現在再生中のオーディオトラックのプログレスバー。

15 オーディオトラックのランダム再生を有効または無効にします。

16 トラックまたはプレイリストのリピート再生を有効または無効にします。

17 現在のオーディオトラックの再生時間。

注：接続されている入力ソースによって、マルチメディア画面の表示は異なります。

メディア (3/3)



ポップアップメニュー 9

再生中に、9 ポップアップメニューでは、次の操作を実行できます：

- マルチメディア画面をスタンバイ状態に設定する
- 音声認識を使用する
- ようこそ画面に戻る
- オーディオの調節にアクセスする（オーディオの調節方法の詳細については、「ラジオを聴く」の「ポップアップメニュー」を参照してください）

注：システムは、デフォルトですべてのトラックを読み取ります。

音声認識の使用

走行中にポップアップメニューボタンを押して音声認識アイコンを押すか、ステアリングコラムコントロールの音声認識ボタンを押します。ピープ音によって、音声認識が作動し、マルチメディアシステムが指示を待っていることが示されます。

ピープ音の後、「アーティストを聴く」、「ラジオを聴く」、「アルバムを聴く」などを選択できます。

ビデオ (1/3)



マルチメディア メニュー

ホーム画面から 1 アイコンを押し、「Media」タブを押します。

注：メディアソースがすでに再生されている場合は、A エリアを押して、関連するメディア画面に直接アクセスします。

注：ビデオ形式によっては、マルチメディアシステムと互換性がない場合があります。

注：使用する USB フラッシュドライブ（またはSD カード）は、FAT32 または NTFS 形式でフォーマットされており、最大 64GB の容量が必要です。互換性のあるビデオ形式の詳細については、指定の販売店にご相談ください。



「Media」

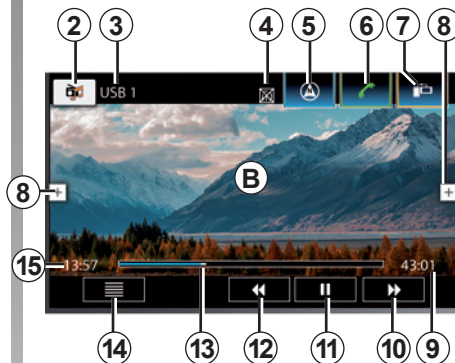
このメニューから補助ソース（iPod、USB スティック、SD カードなど）に保存されたビデオファイルを再生することができます。



次のリストからシステムに接続された入力ソースを選択して、互換性のあるビデオファイルにアクセスします。

- 「Bluetooth」、
- 「SD card」
- 「USB 1」
- 「USB 2」
- 「iPod」
- 「Aux」

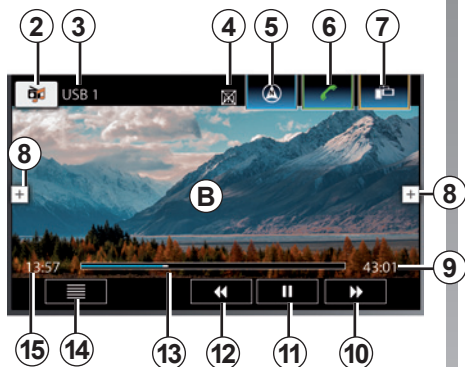
ビデオの再生は、車両が停止している場合のみ可能です。



ビデオ画面

- B 現在再生中のビデオのコンテンツに関する情報。
- 1 ホーム画面からビデオソース選択画面にアクセスします。
 - 2 現在使用中のビデオソース画面からビデオソース選択画面にアクセスします。
 - 3 再生中のソース。

ビデオ (2/3)



ビデオ画面

(続き)

- 4 交通情報（交通情報アナウンスが無効になっている場合は、ログが表示されて警告されます）。
- 5 「navigation」メニューへのショートカット。
- 6 「phone」メニューへのショートカット。
- 7 「mySPIN」メニューへのショートカット。

8 ポップアップメニューにアクセスします。
詳細については、「ラジオを聴く」の項を参照してください。

9 現在再生中のビデオの長さ。

10 短く押す：次のビデオを再生します。

押し続ける：早送りします。

11 ビデオの再生を一時停止／再開します。

12 短く押す：前のビデオを再生するか、ビデオを最初から再生します。

押し続ける：巻き戻します。

13 現在再生中のオーディオトラックのプログレスバー。

14 現在再生中のメディアのブラウザを開きます（メディアのタイプ（フォルダ、リスト、オーディオブック、ポッドキャスト、ビデオ）別のランキング）。

15 現在再生中のビデオの再生時間。

注：接続されている入力ソースによって、マルチメディア画面の表示は異なります。

ビデオ (3/3)



- オーディオの調節にアクセスして詳細な調節を行う（「ラジオを聴く」の「ポップアップメニュー」を参照してください）

ポップアップメニュー 8

再生中に、ポップアップメニュー 8 では、次の操作を実行できます：

- マルチメディア画面をスタンバイ状態に設定する
- 音声認識を使用する
- ようこそ画面に戻る

電話

電話のペアリング、ペアリング解除.	4.2
電話の接続、取り外し.	4.4
電話をかける.	4.6
電話帳.	4.9
発信ログ.	4.12
電話番号を押す.	4.14
SMS	4.15
電話の設定.	4.16

電話のペアリング、ペアリング解除 (1/2)



「phone」メニュー

ようこそ画面から、A エリアまたは 1 ボタンを押して、電話ペアリングメニューにアクセスします（電話が接続されていない場合）。

電話が接続されている場合は、1 ボタンを押すと、通話履歴や「phone」メニューにアクセスすることができます。

注： マルチメディアシステムに電話が切断されていない場合、いくつかのメニューは無効になります。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



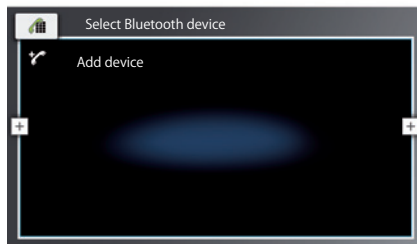
最初の電話のペアリング

ハンズフリーシステムを使用するには、お使いの Bluetooth^(R) 電話をマルチメディアシステムとペアリングさせます。電話の Bluetooth^(R) が作動しており、そのステータスが「認識」になっていることを確認します。

電話の認識ステータスの有効化の詳細については、電話の取扱説明書を参照してください。

- マルチメディアシステムのメインメニューから A エリアを押します。

B



電話がマルチメディアシステムに接続されていない場合は、画面に B ページが表示され、電話をペアリングするように勧められます。

- 「Add device」を押します。
- 電話で、検出された Bluetooth^(R) デバイスのリストから「Alpine」を選択します。

これで電話がマルチメディアシステムとペアリングされた状態になります。

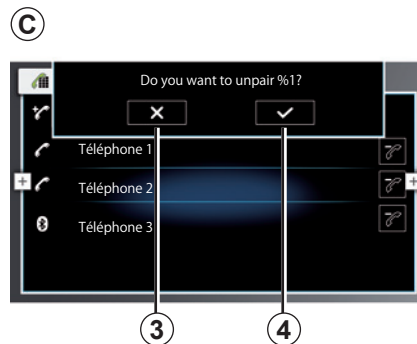
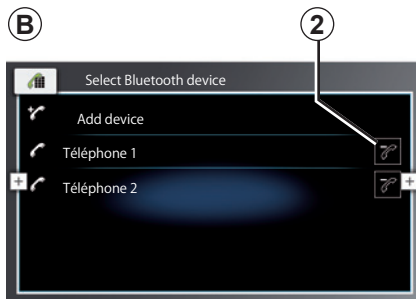
電話のペアリング、ペアリング解除 (2/2)

最初の電話のペアリング (続き)

機種によって、またマルチメディアシステムから求められた場合は、電話に Bluetooth^(R) コードを入力してマルチメディアシステムとペアリングするか、ペアリング要求を確認します。

電話が、連絡先、発信ログ、SMS、メディアなどの共有の許可を求めてくる場合があります。共有を受け入れて、マルチメディアシステムにそれらの情報が表示されるようにします。

注：マルチメディアシステムは、最大6台の電話を記憶できます。



電話のペアリング解除

マルチメディアシステムから電話のペアリングを解除するには、次の手順を実行します：

- B ページで 2 ボタンを押します。

C 画面が表示されます。

- 4 ボタンを押して電話のペアリングを解除するか、3 ボタンを押して操作をキャンセルします。

4 ボタンを選択すると、マルチメディアシステムとペアリングされたデバイスのリストに電話が表示されなくなります。

電話の接続、取り外し (1/2)



「phone」メニュー

ようこそ画面から、A エリアまたは 1 ボタンを押して、電話接続メニューにアクセスします（電話が接続されていない場合）。

電話が接続されている場合は、A エリアを押すと、通話履歴や「phone」メニューにアクセスすることができます。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



電話の接続

ペアリングしていない電話は、マルチメディアシステムに接続することはできません。

詳細については、「電話のペアリング、ペアリング解除」の項を参照してください。

自動接続

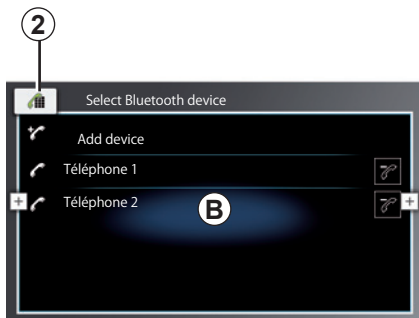
マルチメディアシステムは起動すると、近くにある Bluetooth^(R) が作動中のペアリング済みの電話を探し、最後に保存された電話に接続します。システムが、最後に接続された電話のデータ（ディレクトリ、音楽など）を自動的にダウンロードします。

注：電話を接続するときに通話中の場合は、車両のスピーカーに通話が自動的に転送されます。

注：電話がマルチメディアシステムに自動的に接続される際のデータ（電話帳、音楽、連絡先など）のダウンロードは、電話をマルチメディアシステムとペアリングした時にデータ共有を許可した場合にのみ、有効となります。詳細については、「電話のペアリング、ペアリング解除」の項を参照してください。

注：電話によっては、少なくとも 1 つの音楽ファイルが含まれていないかぎりマルチメディア機能が有効にならないものもあります。

電話の接続、取り外し (2/2)



接続した電話を充電する

接続した電話を充電するには、最初に複数の電話をペアリングする必要があります。

- 「phone」メニューから、2 ボタンを押して、B ペアリングされているデバイスのリストにアクセスします。
- 接続する電話を選択します。

注：互換性のある電話の詳細については、メーカーの代理店に問い合わせるか、利用が可能ならばメーカーのサイトを参照してください。

電話の取り外し

次の場合は、電話がマルチメディアシステムから切断されます：

- 電話の Bluetooth^(R) が無効になっている
- 電話がオフになっている

注：電話を取り外す時に通話中の場合、通話は自動的にお使いの電話機に転送されます。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

電話をかける (1/3)



電話をかける

ホーム画面から、A エリアまたは 1 ボタンを押して、「phone」メニューにアクセスします。

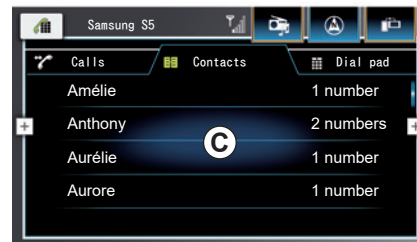
注：電話をかけるには、電話をマルチメディアシステムに接続する必要があります。詳細については、「電話の接続、接続解除」の項を参照してください。



「phone」メニューから、次を選択して電話をかけることができます：

- 発信ログの番号（「Calls」タブ）
- 電話帳の連絡先（「Contacts」タブ）
- デジタルキーパッドボタン（「Dial pad」タブ）

B 発信ログまたは C 電話帳にある番号または連絡先を選択して通話を開始するか、デジタルキーパッドを使用して連絡先の番号を入力します（「Dial pad」タブ）。

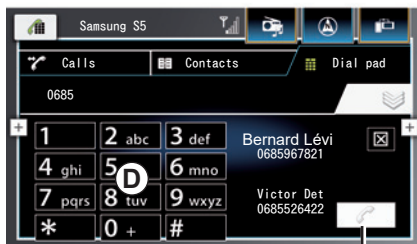


詳細については、「発信ログ」、「電話帳」、および「番号のダイヤル」の項を参照してください。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

電話をかける (2/3)



②

デジタルキーパッドを使用する

デジタルキーパッド D のボタンを使用して、電話をかける連絡先の番号をダイヤルし、2 ボタンを押して通話を開始します。

詳細については、「番号のダイヤル」の項を参照してください。

電話を受ける

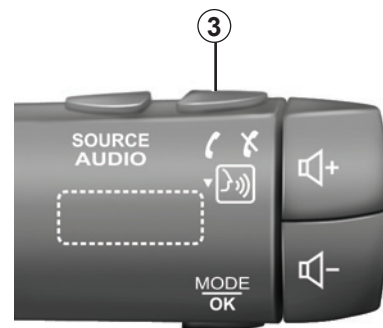
コールを受信すると、「コール受信」画面が表示され、次の情報が表示されます：

- 通話者の名前（名前がお気に入りまたは電話帳に存在する場合）、
- 通話者の電話番号（名前が電話帳に存在しない場合）、
- 「発信者 ID なし」（番号がわからない場合）。

音声認識の使用

走行中にポップアップメニューボタンを押して音声認識アイコンを押すか、ステアリングコラムコントロールの音声認識ボタンを押します。ピープ音によって、音声認識が作動し、マルチメディアシステムが指示を待っていることが示されます。

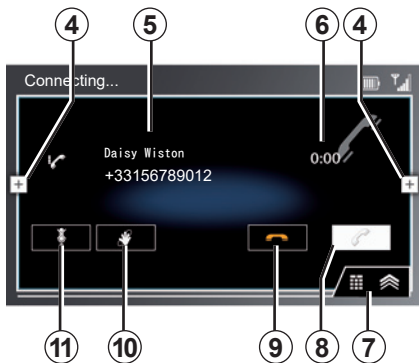
音声信号の後、選択する内容を話してください。例：「Bastienに電話する」、「自宅の電話番号にかける」など。



ステアリングホイール下のスイッチ
ステアリングホイールコントロール 3
を直接押して、通話に応答する／終了
することができます。

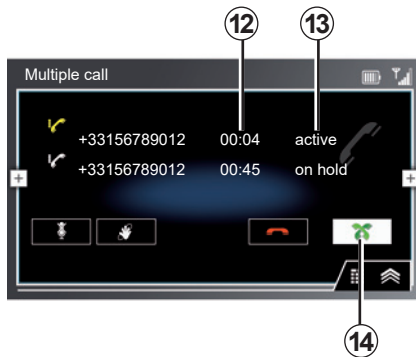
ステアリングホイールコントロールを使用して音量を調節することができます。

電話をかける (3/3)



「通話中」画面

- 4 ポップアップメニューにアクセスします。
- 5 発信者の名前および番号。
- 6 通話時間。
- 7 デジタルキーパッドを表示します。
- 8 通話に 응답します。
- 9 通話を拒否または終了します。
- 10 通話を保留します。
- 11 マルチメディアシステムのマイクを有効または無効にします。



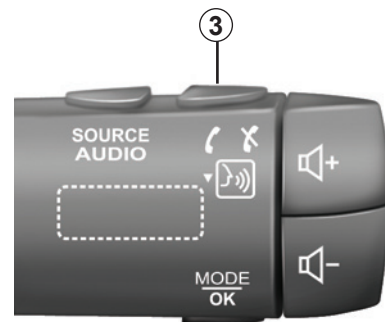
着信を拒否または応答できなかった場合、通話はボイスメールにリダイレクトされます。

「ダブルコール」機能

同時に 2 つの通話に 응답することができます。2 番目の通話に 응답すると、2 番目の発信者の番号および名前が表示されます。すでに通話中の通話は保留されます。

画面に各通話の 12 時間および 13 ステータスが表示されます。

14 ボタンを押すことで、通話をいつでも切り替えることができます。



注： 2 番目の通話に 응답しない場合は、3 ステアリングコラムコントロールを押して通話を拒否することができません。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

電話帳 (1/3)



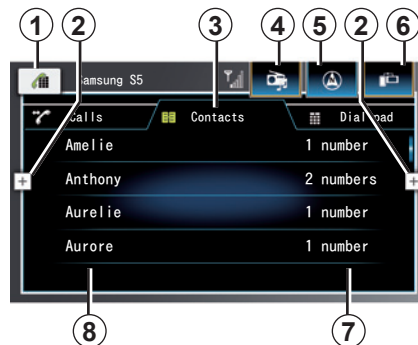
「Contacts」メニュー

ホーム画面から、A エリアを押し、続いて「Contacts」タブ 3 を押して、マルチメディアシステムから電話帳にアクセスします。

注： 電話帳にアクセスするには、電話をマルチメディアシステムに接続する必要があります。

システムは、7 つ以上の単語を含む連絡先の名前を管理していません、電話帳にないことを確認してください。

詳細については、「電話の接続、接続解除」の項を参照してください。



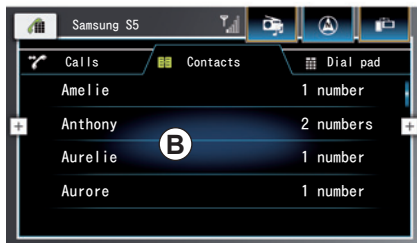
「Contacts」タブ

- 1 「phone」メニューに戻ります。
- 2 ポップアップメニューにアクセスします。
詳細については、「概要」の項を参照してください。
- 4 「Media」のメニューにアクセスする
- 5 「navigation」のメニューにアクセスする
- 6 「mySPIN」のメニューにアクセスする
- 7 連絡先にリンクされている電話番号の数を示しています。
- 8 連絡先の名前または電話番号。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

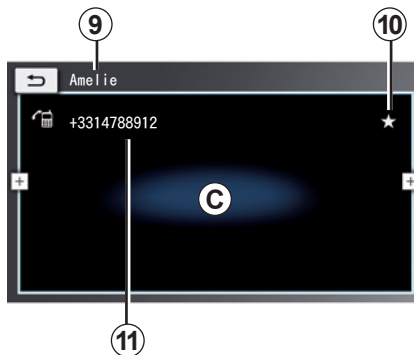
電話帳 (2/3)



電話帳から電話をかける

リスト B から連絡先を選択します。C 画面が表示されます。

- 9 連絡先の名前。
- 10 お気に入りの番号を示しています。
- 11 連絡先にリンクされている番号。
電話する番号を選択すると、通話が自動的に開始されます。



電話メモリをダウンロードする

デフォルトでは、電話のペアリングと接続の際に、ハンズフリー接続が作動している場合は、連絡先が自動的に同期されます（「電話の接続、取り外し」の項の「マニュアル接続」を参照してください）。

電話帳 (3/3)

連絡先の検索

指を上下にスワイプさせて、ドロップダウンリストの名前をスクロールします。

注： 連絡先のリストをスクロールするときに、アルファベット文字が画面に表示され、電話帳での位置が示されます。

機密性

各電話の連絡先リストは、マルチメディアシステムのメモリに記憶されます。

機密保持のため、ダウンロードされた各連絡先は、対応する電話機が接続された場合にのみ表示されます。

音声認識の使用

走行中にポップアップメニューボタンを押して音声認識アイコンを押すか、ステアリングコラムコントロールの音声認識ボタンを押します。 ビープ音によって、音声認識が作動し、マルチメディアシステムが指示を待っていることが示されます。

音声信号の後、選択する内容を話してください。 たとえば、「通話履歴」、「最近の通話」などです。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

発信ログ (1/2)



「発信ログ」メニュー

発信ログにアクセスする

ホーム画面で、A エリアを押し、続いて「Calls」タブ 3 を押して、全通話のログにアクセスします。

通話が上から下に新しい順に表示されます。

注：発信ログにアクセスするには、電話をマルチメディアシステムに接続する必要があります。

詳細については、「電話の接続、接続解除」の項を参照してください。



「Calls」タブ

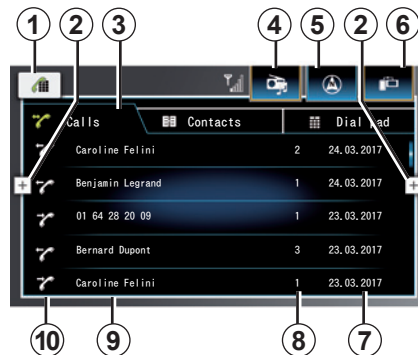
- 1 「phone」メニューに戻ります。
- 2 ポップアップメニューにアクセスします。

詳細については、「概要」の項を参照してください。

- 4 「Media」のメニューにアクセスする



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



- 5 「navigation」のメニューにアクセスする
- 6 「mySPIN」のメニューにアクセスする
- 7 通話の日付。
- 8 この連絡先への通話回数。
- 9 名前または電話番号。
- 10 通話の種類（発信、着信、または不在着信）。

発信ログ (2/2)

発信ログを閲覧する

通話のリストをスクロールするには、画面を上下にスワイプします。

発信ログは、通話の種類（



着信、



発信、



不在着信) を区別して表示
します。

通話ログから電話をかける

発信ログのリストから連絡先を選択すると、マルチメディアシステムによって自動的に通話が開始されます。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

電話番号を押す



「電話番号を押す」メニュー

番号をダイヤルして電話をかける

ようこそ画面から、A エリアを押し、続いて「Dial pad」タブ 5 を押して、デジタルキーパッドにアクセスします。

デジタルキーパッド B を使用して電話する番号を入力し、8 ボタンを押して電話をかけます。

注: 「Dial pad」タブにアクセスするには、電話をマルチメディアシステムに接続する必要があります。

詳細については、「電話の接続、接続解除」の項を参照してください。



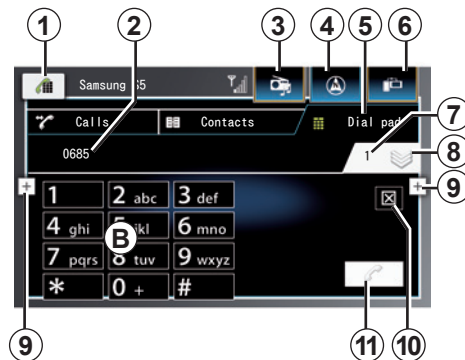
安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



「Dial pad」タブ

B デジタルキーパッド

- 1 メニュー「phone」に戻る
- 2 ダイヤルされた番号（マルチメディアシステムが電話帳から番号を検出した場合は、検出された連絡先番号が自動的に入力されます）
- 3 「Media」のメニューにアクセスする
- 4 「navigation」のメニューにアクセスする



- 6 「mySPIN」のメニューにアクセスする
- 7 マルチメディアシステムによって検出された電話帳の番号の数。
- 8 デジタルキーパッドを表示または非表示にします。
- 9 ポップアップメニューにアクセスします。詳細については、「概要」の項を参照してください。
- 10 最後の数字 2 を消去します。
- 11 通話を開始します。

SMS

マルチメディアシステムで SMS を読むには、最初に電話をペアリングし、電話側でデータの共有と通知を許可する必要があります。

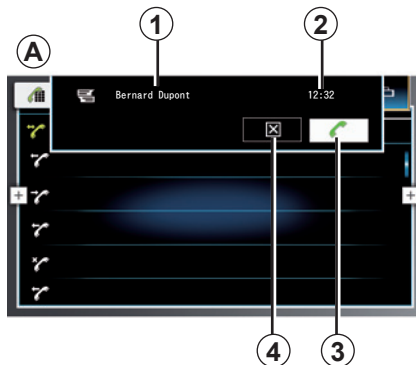
詳細については、「電話のペアリング、ペアリング解除」の項と電話の取扱説明書を参照してください。

「SMS」ウィンドウを起動または解除するには、「電話の設定」の項を参照してください。

電話の仕様とモデルによっては、特定の機能が動作しない場合があります。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



「SMS」ウィンドウ

SMS を受信すると、A ウィンドウが表示されます。

- 1 連絡先の名前または電話番号。
- 2 SMS を受信した時間。
- 3 連絡先に電話をかけます。
- 4 ウィンドウを閉じます。

ルート情報

リストの SMS の 1 つを押して、詳細を表示します。連絡先の名前と電話番号（番号がハンドセットのメモリまたは電話帳に保存されている場合）が表示されます。

3 ボタンを押して、直接連絡先に電話をかけることができます。

注：電話からマルチメディアシステムへのペアリング後に受信したメッセージのみを読むことができます。

注：SMS を読むことができるのは、車両が停止中の場合のみです。

電話の設定 (1/2)




「設定」メニュー

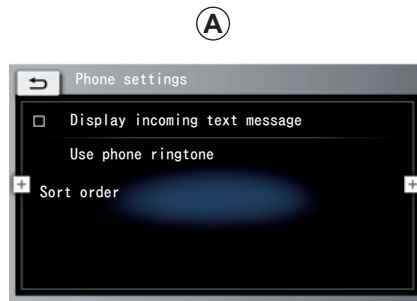
電話をシステムに接続した状態で、「電話」メニューのボタン 1 の 1 つを

押して、 を押します。

画面 A が表示され、次の設定にアクセスできます：

- 「Display incoming text message」
- 「Use phone ringtone」
- 「Sort order」

ボタン 1 の 1 つを押して、 を押すと、設定画面が終了します。



「Display incoming text message」ボックスにチェックを入れると、受信 SMS がマルチメディアシステム画面に表示されます。チェックを外すと、この機能が無効になります。SMS の表示の詳細については、「SMS」の項を参照してください。

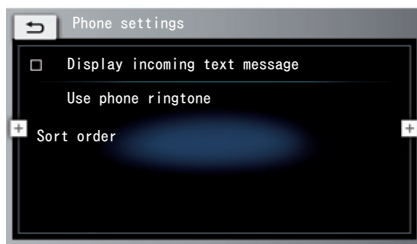
電話の仕様とモデルによっては、特定の機能が動作しない場合があります。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

電話の設定 (2/2)

Ⓐ



「Use phone ringtone」

ボックスにチェックを入れると、着信があったときに着信音が電話から車両のスピーカーに転送されます。チェックを外すと、この機能が無効になります。

注： 電話がマナーモードになっている場合、このオプションは使用できません。

注： このオプションが無効になっているか、電話に着信音転送機能がない場合、使用される着信音は車両の着信音となります。

「Sort order」

このオプションでは、電話帳の連絡先の保存方法を選択できます。次の2つのオプションの1つを選択します：

- 「Last name」
- 「First name」

電話帳の詳細については、「電話帳」の項を参照してください。

電話の仕様とモデルによっては、特定の機能が動作しない場合があります。



サービス

mySPIN.	5.2
	5.1



「mySPIN」メニュー

ようこそ画面から、1 アイコンまたは A エリアを押します。

はじめに

「mySPIN」は、スマートフォンからダウンロードできるアプリケーションで、電話のいくつかのアプリケーションおよび機能をマルチメディアシステム画面から使用することができます。

注： スマートフォンが「mySPIN」アプリケーションに対して互換性があるかどうかを確認するには、メーカーの Web サイトを参照してください。

「mySPIN」アプリケーションは、スマートフォンが車両の USB ポートに接続されている場合にのみ機能します。

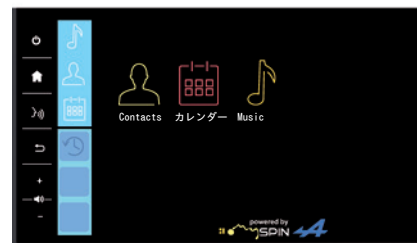


安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



初めての使用

- スマートフォンのアプリケーションダウンロードプラットフォームの検索バーから「mySPIN」アプリケーションをダウンロードおよびインストールします。
- 電話の Bluetooth^(R) を有効にします。
- マルチメディアシステムの USB ポートに電話を接続します、
- 車両のマルチメディアシステム画面で 1 アイコンまたは A エリアを押します。
- 「mySPIN」アプリケーションを使用するには、スマートフォンでリクエストを受け入れます。



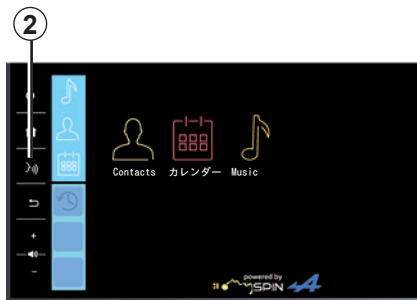
- 電話上で「同意する」ボタンを押して確認します。

初めて使用するときには、アプリケーションの使用方法を示したチュートリアルが電話に表示されます。

- 車両のマルチメディアシステムのホーム画面で 1 ボタンをもう一度押します。

アプリケーションがマルチメディアシステムで起動します。

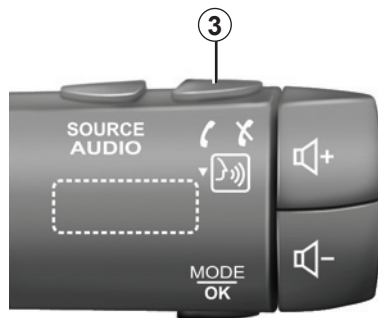
上記の手順が失敗した場合は、同じ操作を繰り返してください。



音声認識の使用

「mySPIN」アプリケーションがマルチメディアシステム上で作動すると、車両の音声認識ボタンを使用して、マルチメディアシステムのいくつかの機能を音声で制御できるようになります。

これを行うには、2 ボタンまたはステアリングコラムコントロールの 3 を押して、コマンドを大きな声ではっきりと言います（詳細については、「音声認識を使用する」を参照してください）。



注： 「mySPIN」を使用すると、スマートフォンの「mySPIN」と互換性があるナビゲーション機能および音楽アプリケーションを利用することができます。

「mySPIN」アプリケーションの使用時に、機能に必要なモバイルデータの転送により、電話プランに含まれない追加コストが発生することがあります。

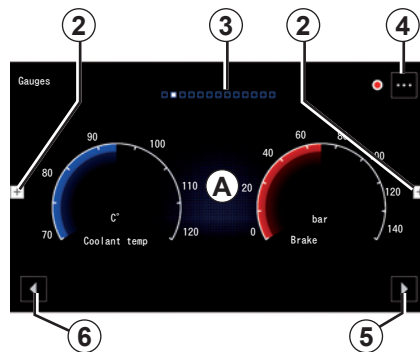
車両

Alpine Telemetrics.	6.2
	6.1



「Alpine Telemetrics」

ようこそ画面から、「1」ボタンを押して、「Alpine Telemetrics」機能にアクセスします。この機能では、車両の一部の技術的な設定を、絶えずリアルタイムに表示することができます。



「Alpine Telemetrics」画面

A ページの内容。

- 1 「Alpine Telemetrics」機能へのアクセス。
- 2 ポップアップメニューにアクセスします。
詳細については、「概要」の項を参照してください。
- 3 ページインジケータ。
- 4 説明および使用上の注意を表示します。
- 5 次の機能にアクセスします。
- 6 前の機能または画面にアクセスします。



システムの操作に関する注意事項

交通事情が許す限り、スイッチを操作してスクリーンで情報を参照してください。



この機能は補助的機能です。したがって運転されるときは、お客さまの責任において慎重に運転しなければならないことを忘れないでください。

また運転者は常に運転に関する規則に準拠してください。

ALPINE TELEMETRICS (2/10)

「Alpine Telemetrics」画面から次の機能を確認することができます：

- 「Gauges」1 および 2 (カスタマイズ可能)；
- 「Bargraphs」(6 つのカスタマイズ可能なバーグラフ)；
- 「Performance」(0 ～ 100 km/h, 0 ～ 400 m など)；
- 「G-G diagram」(横加速度と縦加速度の測定)；
- 「Engine Curves」(出力とエンジントルク)；
- 「Twin Clutch Gearbox」(トランスミッション情報：温度や選択されているギアなど)；
- 「Oscilloscope」(カスタマイズ可能)；
- 「Stopwatch」(ラップタイム)；
- 「Advice」。



「Gauges」

各機能に 2 つのカスタマイズ可能な 7 および 8 圧力計が表示されます。

圧力計の設定

圧力計をカスタマイズするには、マルチメディアシステム画面に表示された 2 つの圧力計 (マノメーター) 7 と 8 のうち 1 つを押して、希望する設定を選択します。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

次の設定を表示することができます：

- 「Torque」；
- 「Power」；
- 「Turbo pressure」；
- 「Oil temp」；
- 「Intake temp」；
- 「Throttle」；
- 「Brake」；
- 「Coolant temp」；
- 「Speed」；
- 「Steering Angle」；
- 「Lateral Accel.」；
- 「EDC Oil temp」；
- 「EDC Clutch temp」；
- 「Engine RPM」；
- 「Wheel torque」。

「Torque」(Nm)

利用可能な「加速力」を知ることができます (単位: Nm)。

「Power」(ch)

エンジン出力 (PS DIN) をリアルタイムに示します。

「Turbo pressure」(mBar)

ターボチャージャーのリアルタイムでの過給圧と利用可能な過給圧を知ることができます (単位: mbar)。

ALPINE TELEMETRICS (3/10)

「Oil temp」 (°C または °F)
エンジンオイル温度 (摂氏または華氏) を示します。

「Intake temp」 (°C または °F)
エンジン吸気温度 (摂氏または華氏) を示します。

「Throttle」 (%)
スロットルバルブの開度を知ることができます (単位: %)。

「Brake」 (bar)
ブレーキ回路の圧力を表示します (単位: bar)。圧力が高くなると、制動力が増します。

「Coolant temp」 (°C または °F)
クーラント温度 (摂氏または華氏) を示します。
注: 動作温度は 115°C 以下である必要があります。温度がこれを超えると、インストルメントパネルにメッセージが表示されます。

「Speed」 (km/h または mph)
車両の速度 (km/h または mph) を示します。

「Steering Angle」 (°)
ステアリングホイールの角度 (度の単位で) を示します。

「Lateral Accel.」 (G)
横加速度と縦加速度 (「G」) を測定します。

「EDC Oil temp」 (°C または °F)
ギアオイル温度 (摂氏または華氏) を示します。

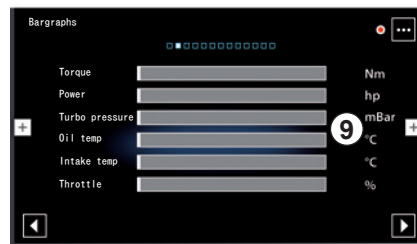
「EDC Clutch temp」 (°C または °F)
クラッチ温度 (摂氏または華氏) を示します。

「Engine RPM」 (RPM)
エンジン回転数を表示 します (r/ min)。

「Wheel torque」 (Nm)
駆動輪に利用可能なトルクを表示します (ニュートンメートル)。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



「Bargraphs」

この機能には、6 つのカスタマイズ可能なバーグラフが表示されます。

バーグラフの設定

バーグラフの表示をカスタマイズするには、マルチメディアシステム画面に表示された 6 つのバーグラフ 9 の 1 つを押して、希望する設定を選択します。

ALPINE TELEMETRICS (4/10)

次の設定を表示することができます：

- 「Torque」；
- 「Power」；
- 「Turbo pressure」；
- 「Oil temp」；
- 「Intake temp」；
- 「Throttle」；
- 「Brake」；
- 「Coolant temp」；
- 「Speed」；
- 「EDC Oil temp」；
- 「EDC Clutch temp」；
- 「Engine RPM」；
- 「Wheel torque」。

「Torque」 (Nm)

利用可能な「加速力」を知ることができます (単位: Nm)。

「Power」 (ch)

エンジン出力 (PS DIN) をリアルタイムに示します。

「Turbo pressure」 (mBar)

ターボチャージャーのリアルタイムでの過給圧と利用可能な過給圧を知ることができます (単位: mbar)。

「Oil temp」 (° C または ° F)

エンジンオイル温度 (摂氏または華氏) を示します。

「Intake temp」 (° C または ° F)

エンジン吸気温度 (摂氏または華氏) を示します。

「Throttle」 (%)

スロットルバルブの開度を知ることができます (単位: %)。

「Brake」 (bar)

ブレーキ回路の圧力を表示します (単位: bar)。圧力が高くなると、制動力が増します。

「Coolant temp」 (° C または ° F)

クーラント温度 (摂氏または華氏) を示します。

注：動作温度は 115° C 以下である必要があります。温度がこれを超えると、インストルメントパネルにメッセージが表示されます。

「Speed」 (km/h または mph)

車両の速度 (km/h または mph) を示します。

「EDC Oil temp」 (° C または ° F)

ギアオイル温度 (摂氏または華氏) を示します。

「EDC Clutch temp」 (° C または ° F)

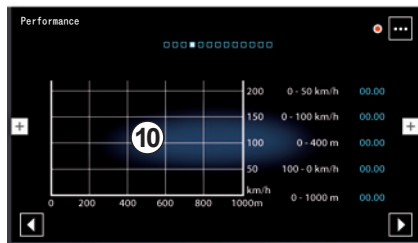
クラッチ温度 (摂氏または華氏) を示します。

「Engine RPM」 (RPM)

エンジン回転数を表示 します (r/ min)。

「Wheel torque」 (Nm)

駆動輪に利用可能なトルクを表示します (ニュートンメートル)。



「Performance」

パフォーマンスの測定は自動的に行われ、0 km/h を超える速度が検出されると開始されます。車両が 2 秒間以上停車すると、自動的にリセットされます。減速の測定は、急ブレーキを行ったときに開始されます。

測定されたパフォーマンスは以下のとおりです。

- 毎時0"50キロ
- 毎時0"100キロ
- 0"400メートル
- 毎時100"0キロ
- 0"1000メートル

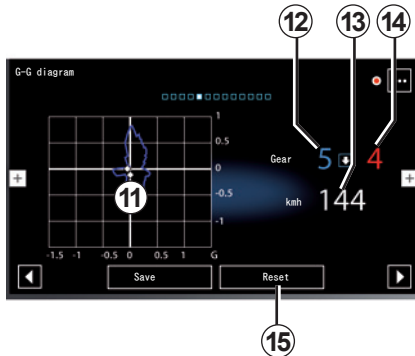


図 10 は、走行距離に対する車両速度を表しています。

注：このテストは、短い距離で実行することもできます。したがって、0 ~ 400 メートルおよび 0 ~ 1000 メートルのパラメータはゼロのままです。

「G-G diagram」

加速時、アイドリング時、旋回時に車は横加速度と縦加速度を受けます。この機能では、それらの加速度を表示してリアルタイムに測定することができます。

11 画面にはマルチメディアシステムに記録された測定値の履歴が表示されます。

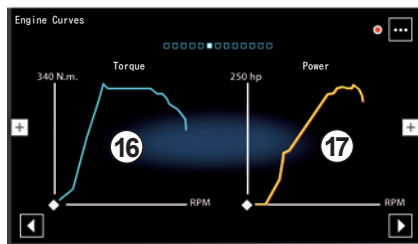
次の情報を確認することもできます：

- 選択されているギア 12 ；
- 推奨ギア 14 ；
- リアルタイムの車両の速度 13

表示をゼロにリセットするには、「Reset」15 を押します。



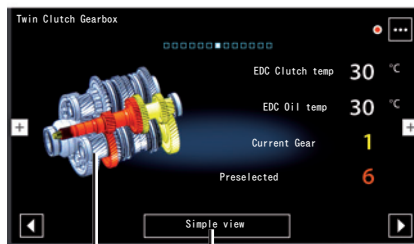
安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



「Engine Curves」

この機能では、次の情報を表示することができます：

- エンジントルク 16 (Nm)
- リアルタイムのエンジン出力 17 (PS DIN)



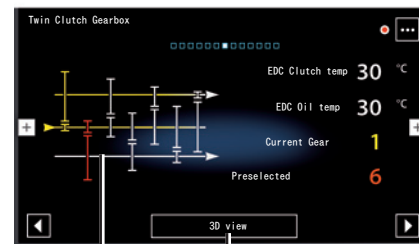
18

19

「Twin Clutch Gearbox」

この機能では、デュアルクラッチトランスミッション 18 の動作を示したアニメーションを再生したり、次の情報を表示したりできます：

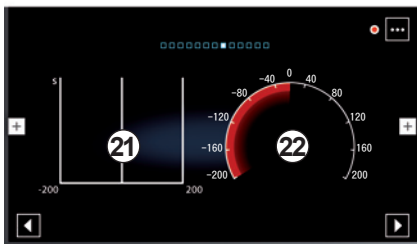
- クラッチ温度
- ギアオイル温度
- 選択されているギア（画面に示されているギアとインストルメントパネルに示されているギアの間に約 2 秒間の時差が生じる場合があります）
- 事前に選択されたギア



18

20

注：アニメーションのタイプを変更するには、「Simple view」19 または「3D view」ボタン 20 を押します。



「Oscilloscope」

この機能では、選択した設定を 21 オシロスコープに表示することができます。

オシロスコープの設定

オシロスコープをカスタマイズするには、マルチメディアシステム画面に表示された 22 マノメーターを押して、希望する設定を選択します。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

次の設定を表示することができます：

- 「Torque」；
- 「Power」；
- 「Turbo pressure」；
- 「Oil temp」；
- 「Intake temp」；
- 「Throttle」；
- 「Brake」；
- 「Coolant temp」；
- 「Speed」；
- 「Steering Angle」；
- 「Lateral Accel.」；
- 「EDC Oil temp」；
- 「EDC Clutch temp」；
- 「Engine RPM」；
- 「Wheel torque」。

「Torque」(Nm)

利用可能な「加減速力」を知ることができます (単位: Nm)。

「Power」(ch)

エンジン出力 (PS DIN) をリアルタイムに示します。

「Turbo pressure」(mBar)

ターボチャージャーのリアルタイムでの過給圧と利用可能な過給圧を知ることができます (単位: mbar)。

「Oil temp」(°C または °F)

エンジンオイル温度 (摂氏または華氏) を示します。

「Intake temp」(°C または °F)

エンジン吸気温度 (摂氏または華氏) を示します。

「Throttle」(%)

スロットルバルブの開度を知ることができます (単位: %)。

「Brake」(bar)

ブレーキ回路の圧力を表示します (単位: bar)。圧力が高くなると、制動力が増します。

「Coolant temp」(°C または °F)

クーラント温度 (摂氏または華氏) を示します。

注：動作温度は 115°C 以下である必要があります。温度がこれを超えると、インストルメントパネルにメッセージが表示されます。

「Speed」(km/h または mph)

車両の速度 (km/h または mph) を示します。

ALPINE TELEMETRICS (8/10)

「Steering Angle」 (°)
ステアリングホイールの角度（度の単位で）を示します。

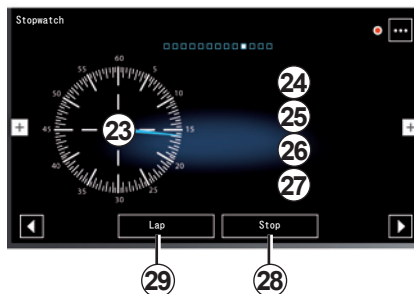
「Lateral Accel.」 (G)
横加速度と縦加速度（「G」）を測定します。

「EDC Oil temp」 (°C または °F)
ギアオイル温度（摂氏または華氏）を示します。

「EDC Clutch temp」 (°C または °F)
クラッチ温度（摂氏または華氏）を示します。

「Engine RPM」 (RPM)
エンジン回転数を表示 します (r/ min)。

「Wheel torque」 (Nm)
駆動輪に利用可能なトルクを表示 します (ニュートンメートル)。



「Stopwatch」

この機能では、次の情報が表示することができます：

- クロノメーター 23 および 24 ；
- 周回開始からの時間 25 ；
- 直近 2 回の周回タイム 26 ；
- 最高周回タイム 27

ストップウォッチを開始するには、「Start」ボタン（またはストップウォッチの 23）を押し、次に「Lap」ボタン（またはストップウォッチの 24）を押すたびに、システムがラップタイムを記録します。

このタイムは、最新周回タイム 26 に表示され、その間もクロノメーターの計測は続きます。

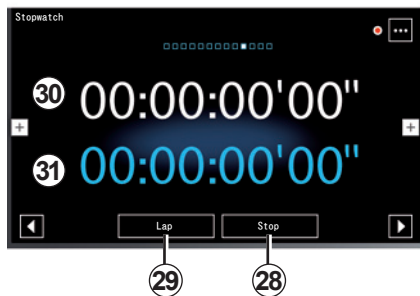
注：「Start」ボタン 29 を押すと、「Start」機能が「Lap」ボタンと置き換わります。

「Stop」ボタンを 1 回押すと、ストップウォッチが停止します（タイムは表示されたままになります）。

「Reset」ボタンを 1 回押すと、すべての情報が消去され、メインストップウォッチがゼロにリセットされます。

注：「Stop」ボタン 28 を押すと、「Stop」機能が「Reset」ボタンと置き換わります。

Ⓑ



簡略化された表示 (B 画面)

簡略化された表示に切り替えるには、マルチメディア画面を押します。

次の情報が表示されます：

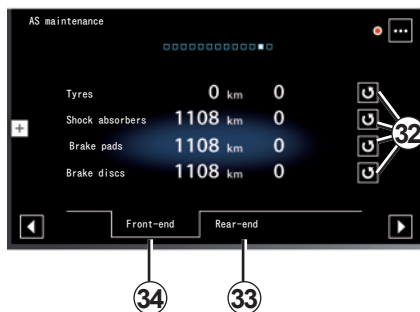
- 周回開始からの時間 30；
- 一般的なクロノメーター 31

ストップウォッチを開始してラップタイムを記録するには、マルチメディア画面を押します。

「Stop」ボタンを 1 回押すと、ストップウォッチが停止します（タイムは表示されたままになります）。

「Reset」ボタンを 1 回押すと、すべての情報が消去され、メインストップウォッチがゼロにリセットされます。

注：「Stop」ボタン 28 を押すと、「Stop」機能が「Reset」ボタンと置き換わります。



「AS maintenance」

この機能は、走行距離と車両の次の機械部品の寿命を知らせます：

- タイヤ
- ショックアブソーバー
- ブレーキパッド
- ブレーキディスク

34 タブを押すと、車両の前アクスルに関する情報を表示することができます。

33 タブを押すと、車両の後アクスルに関する情報を表示することができます。

表示のリセット

部品を交換したら、関連する部品の 32 ボタンを押して、その部品に関連するすべてのコンピューターをリセットします。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

システム

システム設定.	7.2
作動異常.	7.6
	7.1

システム調整 (1/4)



設定メニュー

設定メニューを使用して、さまざまな設定および調整にアクセスできます。よろこ画面から、1 ボタンの 1 つを押して、次の設定にアクセスします：

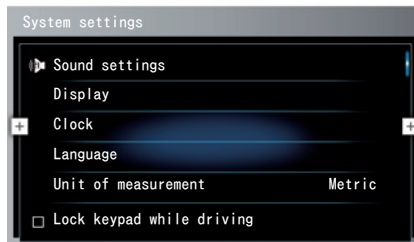
- 「Sound settings」
- 「Display」、
- 「Clock」
- 「Language」、
- 「Unit of measurement」
- 「Lock keypad while driving」
- 「Security PIN」
- 「Open-source software」
- 「Reset to factory settings」
- 「Serial number:」



「Sound settings」

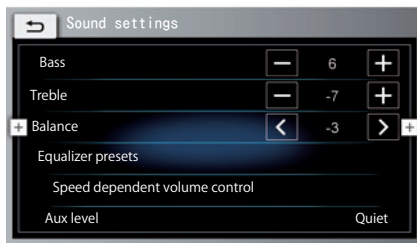
この機能では、次の調整を行うことができます：

- 「Bass」：この機能では、低音域を増強したり抑制したりできます。値を調整するには、「+」および「-」ボタンを押します。
- 「Treble」：この機能では、高音域を増強したり抑制したりできます。値を調整するには、「+」および「-」ボタンを押します。



- 「Balance」：この機能を使用して、音のバランスを調整できます。左側のスピーカーの音量を大きくするには、「<」を押します。右側のスピーカーの音量を大きくするには、「>」を押します。
- 「Equalizer presets」：この機能を使用して、サウンドイコライザーを選択できます (Pop、Rock、Hip Hop、Jazz など)。

システム調整 (2/4)



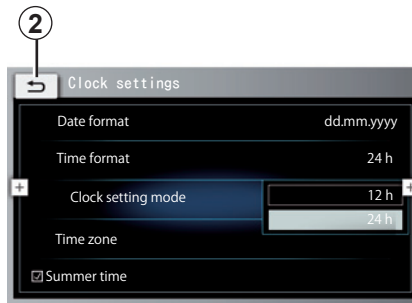
- 「Speed dependent volume control」：この機能を有効にすると、オーディオシステムの音量が車両の速度に応じて変化します。レベル（「Level 1」、「Level 2」、「Level 3」、または解除）を選択し、感度を調整できます。
- 「Aux level」：この機能を使用して、ジャックの感度 Jack を調整できます。感度を高くする場合は「Loud」、感度を標準にする場合は「Normal」、また感度を低くする場合は「Quiet」を選択します。

- 「System beep」：この機能を有効にすると、マルチメディアシステムによってメッセージが画面に表示されたとき、またはステアリングコラムコントロールボタンの 1 つを長押ししたときにビーブ音が鳴るようになります。

「Display」

この機能では、次の調整を行うことができます：

- 「Brightness」：この機能では、画面を明るくしたり暗くしたりできます。値を調整するには、「+」および「-」ボタンを押します。
- 「Mode」：この機能では、現在使用されているモードを表示できます。モードは、ヘッドランプが点灯しているかどうかに基づいて自動的に定義されます。ヘッドランプが点灯している場合、マルチメディアシステムは「Night」モードになります。そうでない場合、マルチメディアシステムは「Day」モードになります。

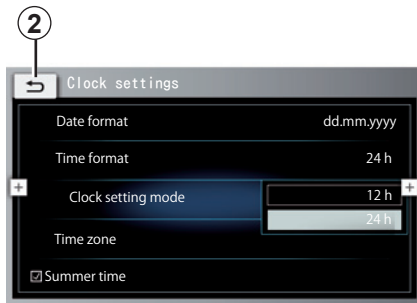


「Clock」

この機能では、次の調整を行うことができます：

- 「Date format」：この機能では、日付表示モードを選択できます。希望する形式を選択し、2 ボタンを押して保存し、前の画面に戻ります。
- 「Time format」：この機能では、時刻表示モードを選択できます。希望する形式（「12 h」または「24 h」）を選択します。

システム調整 (3/4)



- 「Clock setting mode」: この機能では、時刻設定モードを選択できます。「GPS」を選択すると、マルチメディアシステムによって自動的に時刻が設定されます。「Manual」を選択すると、手動で時刻を設定できます。
- 「Time zone」: この機能では、タイムゾーンを選択できます。希望するタイムゾーンを選択し、2 ボタンを押して保存し、前の画面に戻ります。



- 「Summer time」: この機能では、サマータイムを有効または無効にすることができます。ボックスにチェックを入れると、サマータイムが有効になります。ボックスを空にすると、サマータイムが無効になります。

「Language」

この機能では、車両の言語を選択できます。希望する言語を選択し、3 ボタンを押して保存し、前の画面に戻ります。

注: 音声認識は、すべての言語で利用できるわけではありません。

「Unit of measurement」

この機能では、マルチメディアシステムで使用する単位（「Metric」または「Imperial」）を選択することができます。

「Lock keypad while driving」

この機能では、走行中のキーパッドのロックを有効または無効にすることができます。

「Security PIN」

この機能では、マルチメディアシステムのパスワード保護を有効または無効にすることができます。

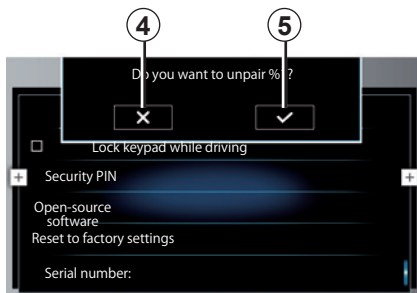
マルチメディアシステムの起動時にパスワード保護を有効にするには、「Security PIN protection」機能を有効にします。

PIN パスワードを変更してカスタマイズするには、「Change security PIN」を選択し、マルチメディアシステム画面に表示される指示に従います。

「Open-source software」

この機能では、マルチメディアシステムライセンスに関する情報にアクセスすることができます。

システム調整 (4/4)



「Serial number:」

この機能では、マルチメディアシステムのシリアル番号を表示することができます。

「Reset to factory settings」

この機能では、マルチメディアシステムのすべての設定をデフォルトにリセットすることができます。すべてのデータと設定が削除されます。

デフォルトにリセットするには、「Reset to factory settings」を押します。確認の警告メッセージがマルチメディアシステム画面に表示されます。4 ボタンを押してリセットをキャンセルするか、5 ボタンを押して確定し、リセットを開始します。

作動不良 (1/3)

システム		
不具合	原因	解決法
画像が全く表示されない。	画面が動作していません。	ルノー正規サービス工場にご連絡ください。
音が出ない。	音量が最小か一時停止になっています。	音量を上げるか一時停止を解除します。
左側または右側のスピーカーから音が出ません。	balance の設定が正しくありません。	左右の音の balance 設定を修正します。
画面がフリーズしている。	システムメモリが飽和状態です。	ルノー正規サービス工場にご連絡ください。

作動不良 (2/3)

ナビゲーション		
不具合	原因	解決法
画面上の車両の位置が実際の位置と一致しない、または画面上の GPS 警告灯がグレーまたは黄色のままになっている。	GPS受信が原因で、間違った位置が測定されています。	GPS信号を良好に受信できるところまで車を移動させてください。
画面上に提示される情報が、実際とは異なっています。	地図が古くなっています。	ルノー正規サービス工場にご連絡ください。
交通の流れが画面に表示されない。	ガイドがオフになっています。	ガイドがオンになっているか確認してください。目的地を確認してガイドを開始します。
メニュー項目の一部が使用できません。	使用中のコマンドに関する一部の項目が使用できません。	
音声ガイドが使用できない。	ナビゲーションシステムが交差点を認識しない。 音声ガイドまたはガイドがオフになっています。	音量を上げて下さい。音声ガイドがオンになっているか確認して下さい。ガイドがオンになっているか確認してください。
音声ガイドが実際と異なっています。	音声ガイドは、環境によって異なる場合があります。	実際の状況に応じて運転してください。
提案ルートが開始されない、もしくは希望目的地で終了しない。	システムが目的地を認識していない。	希望する目的地の近くの道路を入力します。
システムが迂回路を自動的に計算しません。	優先回避エリア設定または交通規制は、ルート計算に影響を与えます。	交通設定メニューで、Dynamic guidance機能を解除します。

作動不良 (3/3)

電話		
不具合	原因	解決法
音と呼び出し音が聞こえません。	携帯電話の電源が入っていないかシステムに接続されていません。 音量が最小か一時停止になっています。	携帯電話の電源とシステムへの接続を確認してください。音量を上げるか一時停止を解除します。
電話をかけられません。	携帯電話の電源が入っていないかシステムに接続されていません。	携帯電話の電源とシステムへの接続を確認してください。

音声認識		
不具合	原因	解決法
システムが音声コマンドを認識しない。	音声コマンドが認識されていない。 音声認識の遅延時間が過ぎています。 音声認識は、騒音の多い環境では正しく機能しません。	音声制御が利用可能であることを確認してください（「音声認識を使用する」を項を参照してください）。音声認識の遅延時間内で発声してください。

索引 (1/2)

B	
Bluetooth®	3.11 → 3.13
M	
MP3	3.11 → 3.13
MP3 リーダー	3.11 → 3.13
R	
RDS	3.8 - 3.9
U	
USB	3.11 → 3.13, 6.2
USB キー	3.11 → 3.13, 6.9 - 6.10
USB プラグ	6.9
ア	
アドレス	2.3 → 2.11
イ	
イグニッションスイッチ	4.9 → 4.11
インストールパネル	7.5
お	
お気に入り 追加	2.6
カ	
カード	
SD	0.1, 3.11 → 3.13
リーダー	2.2
地図シンボル	2.2
表示	2.2
調整	2.14 → 2.16
ガ	
ガイドダンス	
カード	2.2
キャンセル	2.3
作動状態	2.3 → 2.11
音声	2.4
コ	
コール履歴	4.12 - 4.13
コンテキストボタン	1.2 → 1.4, 1.8

サ	
サブルート	2.12 - 2.13
ス	
スイッチ類	1.5, 1.7
ステップ	2.7
デ	
ディスプレイ スタンバイ	1.8 - 1.9
デフォルトによる調節	7.5
テ	
テンキー	4.14
ナ	
ナビゲーションシステム	0.1, 2.2
パ	
パーソナルデータ 保存	6.6, 6.9
パラメータ	6.3 → 6.5, 6.8 - 6.9
バ	
バランス	3.8
フ	
フォルダ	6.10
ヘ	
ヘッドアップディスプレイ	7.5
ボ	
ボタン	1.5, 1.7
メ	
メニュー	1.7 - 1.8
ラ	
ラジオ	
オートマチックモード	3.3, 3.7
マニュアルモード	3.3, 3.5
放送局のオートメモリー	3.3, 3.7
放送局の登録	3.3 - 3.4, 3.6 - 3.7
放送局を選択する	3.4

索引 (2/2)

ラジオ	3.2 → 3.10
ラジオ局をメモリーする	3.7
ル	
ルート詳細	2.6
交	
交通情報	2.12 - 2.13
仕	
仕向地	2.3 → 2.11
作	
作動異常	7.6 → 7.8, 7.8
使	
使用上の注意	0.1
停	
停止	1.9
利	
利点	2.4 → 2.11
呼	
呼び出し待機中	4.6 → 4.8
携	
携帯オーディオ	3.11 → 3.13
携帯オーディオ Bluetooth®	3.11 → 3.13
時	
時間	
表示	7.3 → 7.5
調整	7.3 → 7.5, 7.4
機	
機能	1.2 → 1.4
画	
画面	
オーディオ	3.11 → 3.13
メニュー	1.2, 1.7 - 1.8

番	
番号をダイヤルする	4.6 → 4.8, 4.14
言	
言語	
変更	7.4
調	
調整	
オーディオ	3.8, 7.2 → 7.5
カスタマイズ	2.14 → 2.16, 7.2 → 7.5
ナビゲーション	2.14 → 2.16
明るさ	7.3
調節	4.16 - 4.17, 7.2 → 7.5
起	
起動	1.9
距	
距離単位	7.4
車	
車両使用期間中のメンテナンス	6.11
電	
電話に接続する	4.2 - 4.3
電話のペアリングを解除する	4.2 - 4.3
電話の受信拒否する	4.6 → 4.8
電話リスト	4.9 → 4.11
電話をペアリングする	4.2 - 4.3
電話を切る	4.4 → 4.8
電話を受ける	4.6 → 4.8
電話を接続する	4.4 - 4.5
音	
音声スイッチ	1.10 → 1.12
音声認識	1.10 → 1.12
音量：速度に適応	3.9
音量配分	3.8
高	
高音	3.8



SOCIÉTÉ DES AUTOMOBILES ALPINE, SA par actions simplifiée à associé unique au capital de 3 567 564 €
AVENUE DE BREAUDE, 76200 DIEPPE - SIRET 662 750 074 / SITE INTERNET : alpinecars.com

NX 1296-5 - 77 11 413 251 - 10/2020 - Édition japonaise



7 7 1 1 4 1 3 2 5 1

